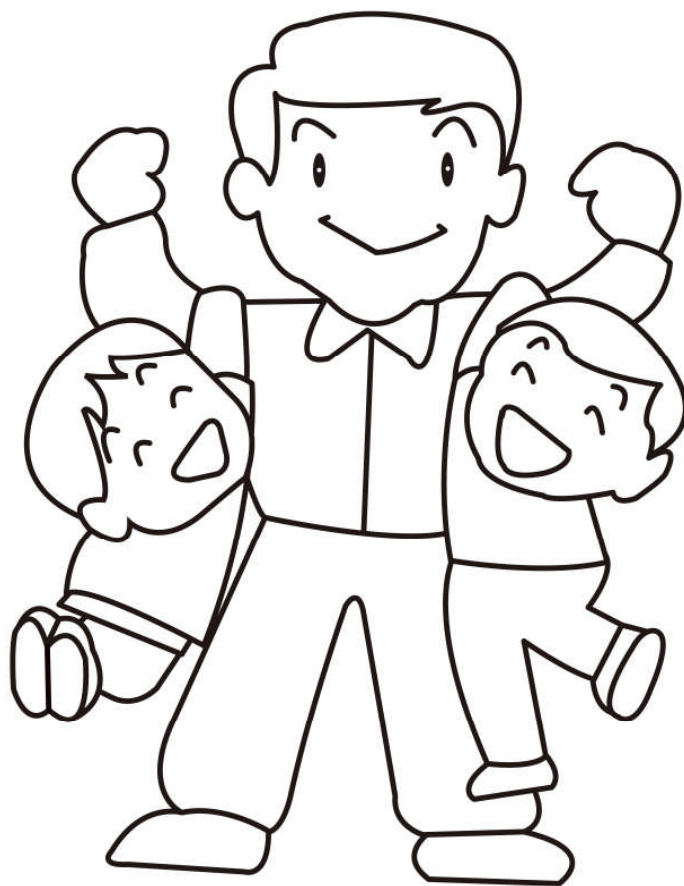


生（生きるため）の 健康教育プログラム



福島県会津保健福祉事務所
（平成21年3月）

目 次

はじめに

活用にあたって

幼児編 1

保護者編 14

参考資料

① 実態調査関係 25

② 会津保健福祉事務所及び管内市町村母子保健担当窓口 66

③ 会津地域子どもたちの生と性のち生きいき推進会議開催の経過 67

④ 会津地域子どもたちの生と性のち生きいき推進会議構成員 68

⑤ 会津地域子どもたちの生と性のち生きいき推進会議ワーキング
グループ構成員 69

《活用にあたって》

生（生きること）の健康教育プログラムの目標は

「思いやりをもって仲良く遊び、“いのちを大切に”子ども」

を育てることです。

キーワードは

「思いやり」「仲良し」「いのちの大切さ」・・・この3つです。

「思いやり」： 生きている動植物をはじめ、家族・友だち・先生など、子どもを取り巻く全てのいのちあるものや、人間に対し思いやることができる。

「仲良し」： 友だちとの遊びを通して、思いやりがはぐくまれ、親しみをもった人とのかかわりができる。

「いのちの大切さ」： 自分自身も自分を取り巻く人や動植物のいのちも、大切に生き方ができる。

*このプログラムは、幼児編、保護者編、参考資料編から成り立っています。

『**幼児編**』・・・このプログラムの目標を達成するために、**6つのねらい**を設けました。

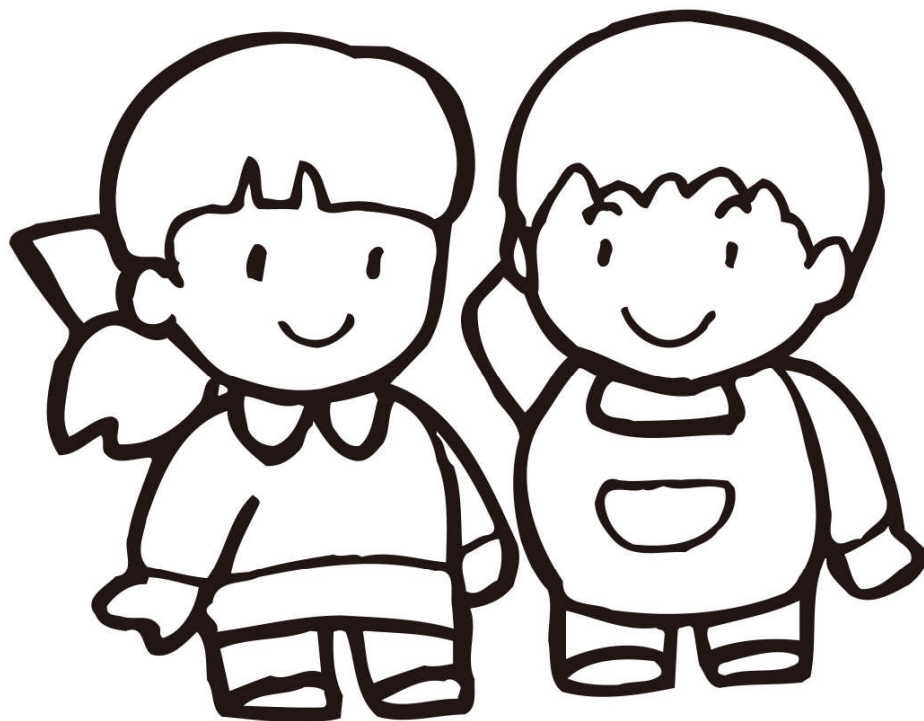
そのねらいの一つ一つについて、**保育者が幼児に対して**具体的に支援、配慮する事項を記載してあります。

『**保護者編**』・・・このプログラムの目標を達成するために、**5つのねらい**を設けました。

そのねらいの一つ一つについて、保護者の行動を記載し、**保育者が保護者の望ましい行動を促す**ために、具体的な支援、配慮する事項を記載してあります。

どちらも、このプログラムの「目標」を達成するため、幼稚園・保育所、家庭、地域の関係者が**連携**して、**子ども自身がたった一つのいのちを大切に思い、自ら健康で他の人々と親しみ支え合って生きていける**ように支援する内容になっております。

幼 兒 編



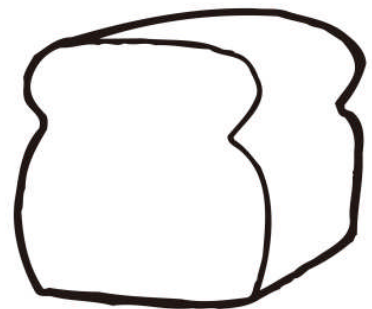
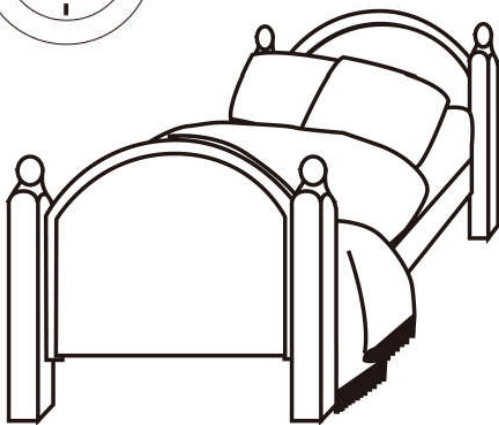
幼児期の生（生きること）の健康教育プログラム

（幼児編：保育者が幼児に対する支援プログラム）

（目標）「思いやりをもって仲良く遊び、 “いのちを大切にする” 子ども」

| | ね ら い | 内 容 |
|---|------------------------------|--|
| 1 | 幼児が基本的生活習慣を身につける。 | (1) 早寝、早起き、朝ご飯などの生活リズムを身につける。 (2) 親しみをもって日常のあいさつをする。 (3) 年齢に応じた身支度や片づけができる。 (4) 体を清潔に保つ。（手洗い、歯みがき、うがい、排泄など） |
| 2 | 幼児が自分や家族、友だち、動植物などの命の大切さを知る。 | (1) 自分を大切にする。 (2) 感謝の気持ちをもつ。 (3) 思いやりやいたわりの気持ちをもつ。 (4) 動植物をかわいがって育てる。 (5) 美しいものに感動する。 (6) 友だちと仲良くし、助け合う。 |
| 3 | 幼児が命のつながりを知る。 | (1) 命のつながりに関心をもつ。 (2) 妊娠、出産について知る機会を大切にし、自分の誕生と両親の存在との関係を知る。 (3) 男女の体の違いを知る。 (4) 愛情と信頼感（自己肯定感、愛されている）をもつ。 (5) 危険な場所、危険な遊び方、災害時などの対応の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。 |
| 4 | 幼児が体のすばらしさを知る。 | (1) 体の部位の名称が言え、各部位の働きに関心をもつ。 (2) 体を清潔に保つ。（手の洗い方、汗の始末など） (3) 基本的な動き（転がる、回る、走る、ジャンプする、投げるなど）を通して、できた喜びを感じる。 (4) 自分の健康に関心をもち、健康であることの喜びを感じる。 |
| 5 | 幼児が自分の意思を言葉や態度で表現する。 | (1) 周りの人の話を静かに聞く。 (2) 自分の思いを他の人に伝える。 (3) 様々な出来事の中で感動したことを伝え合う楽しさを味わう。 (4) 「なぜ？」、「どうして？」などの興味関心を深める。 |
| 6 | 幼児が身近な人に親しみをもち、関わりを深める。 | (1) 誰とでも仲良く遊ぶ。（自分より年上の子、年下の子、近所の子） (2) 遊びのルールを守って遊ぶ。 (3) 遊びを通してコミュニケーションスキルを獲得する。 |

| | ねらい | 内容 |
|---|-------------------|---------------------------------|
| 1 | 幼児が基本的生活習慣を身につける。 | (1) 早寝、早起き、朝ご飯などの生活リズムを身につける。 |
| | | (2) 親しみをもって日常のあいさつをする。 |
| | | (3) 年齢に応じた身支度や片づけができる。 |
| | | (4) 体を清潔に保つ。(手洗い、歯みがき、うがい、排泄など) |



(保護者へも働きかける：◇)

内容保育者の援助・配慮事項

- ① (◇) 朝食、夕食の実態（例えば、誰と何時に食事をしているか）を把握して、食事の大切さを知らせる。
- ② (◇) 体の成長にとって早寝、早起きが必要であることを知らせる。

「保育所たより」「幼稚園たより」
「クラスたより」などを活用する。

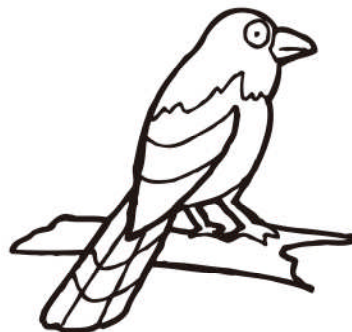
- ① 一日の生活の中で、その都度きちんとあいさつをする大切さを知らせる。
- ② 保育者がモデルとなって、親しみをもった日常のあいさつの仕方を繰り返し指導する。

- ① 発達段階に応じた（年齢ごとの）到達目標を設定し定着させる。
- ② 遊びの後、制作活動の後、昼食後などの片づけが身につくよう片づけ方を知らせる。
- ③ 片づけは、その場所に絵やマークなどを貼り、分かりやすく行えるようにする。
- ④ 着替えの時に、きちんと服をたたんでおく習慣を身につけさせる。
- ⑤ 片づけた後の気持ちよさを感じさせ、片づけの大切さを知らせる。

- ① 排泄がひとりでできるように繰り返し指導する。
- ② 手洗いやうがい、歯みがきの必要性を話し、きれいになる気持ちよさを感じさせる。
- ③ 衣服が汚れたときに着替えをすることで、さっぱりとした気持ちよさを感じさせる。



| | ねらい | 内容 |
|---|------------------------------|-----------------------|
| 2 | 幼児が自分や家族、友だち、動植物などの命の大切さを知る。 | (1) 自分を大切にする。 |
| | | (2) 感謝の気持ちをもつ。 |
| | | (3) 思いやりやいたわりの気持ちをもつ。 |
| | | (4) 動植物をかわいがって育てる。 |
| | | (5) 美しいものに感動する。 |
| | | (6) 友だちと仲良くし、助け合う。 |



内容保育者の援助・配慮事項

- ① 成長が感じられることは、ささいなことでも誉める。
- ② 個別的に、具体的に言葉がけをする。
- ③ お互いを認め合えるように接する。
- ④ 愛されている実感がもてるようにかかわる。

- ① 「ありがとう」のことが自然に出てくるように繰り返し指導する。
- ② 食事の際に「命をいただきます」という意味を伝える。
- ③ 昼食の時に、感謝の気持ちをもって食べることを知らせる。
- ④ 野菜などを育て、収穫したものを食べることで感謝の気持ちがもてるようにする。
- ⑤ 父の日、母の日、敬老の日、勤労感謝の日などに感謝の気持ちを表せるような活動をする。

- ① 年下の子やお年寄りと触れ合う機会をもつ。
- ② 怪我や病気をした友だちへの接し方について教える。

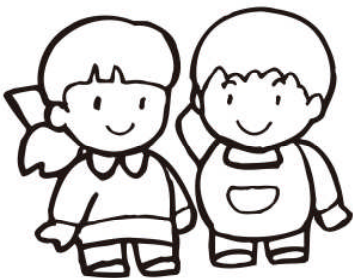
- ① 生き物の誕生や成長に興味や関心をもつよう、小動物を飼育する。
- ② (◇) 子どもが動植物を大切に扱っている場面を捉え、周囲に知らせる。
- ③ 外遊びをとおして園庭などの花や木々の名前を教えたり、季節ごとの景色の違いに気づかせ、植物の命について教える。
- ④ 植物の栽培や小動物を飼育することなどを通して、悲喜こもごもの体験を共有できる機会をもつ。

- ① 美しいもの（花、絵画、季節の移り変わりの景色など）に触れる機会をもつ。
- ② 美しいものに触れたとき、感じたことを言葉や態度で表現して知らせる。

- ① 共通の目的に向かって取り組む活動（作業）を意図的に取り入れる。
- ② 先生や友だちとの関わりの中で望ましい姿を認め、周囲に知らせると共に仲良くすること、助け合うことの心地よさを感じさせる。
- ③ お互いの存在や良さを認め合える関係を築けるようサポートする。



| | ねらい | 内容 |
|---|---------------|--|
| 3 | 幼児が命のつながりを知る。 | (1) 命のつながりに関心をもつ。 |
| | | (2) 妊娠、出産について知る機会を大切にし、自分の誕生と両親の存在との関係を知る。 |
| | | (3) 男女の体の違いを知る。 |
| | | (4) 愛情と信頼感（自己肯定感、愛されている）をもつ。 |
| | | (5) 危険な場所、危険な遊び方、災害時などの対応の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。 |



内容保育者の援助・配慮事項

- ① (◇)親子でスクラップブックング等を行い、生まれてきたときのことを自然と会話することができる場面をもつ。
- ② 世代が違う人たちが居ることを通して、命のつながりに気づかせる。

参観日に親子でスクラップブックング等を行う。

- ① 子どもたちへ絵本や紙芝居等を用いて自分の誕生について興味をもたせ、親子の繋がりを理解させる。
- ② (◇)赤ちゃんを育てている母親と一緒に過ごす機会（参観日等の行事）を増やし、自分も育ててもらった実感をもたせる。
- ③ 誕生会などで一人ひとりが生まれてきたことに感謝の気持ちがもてるようにする。

- ① 男女の違いについて、トイレ指導やプールの着替えの時などに気づかせる。
- ② 絵本をとおして男女の体の違いを教える。

- ① (◇)周りの大人や家族に愛されて（大切にされて）生きていることを子ども自身が感じとれるよう、家族と連携して伝える。

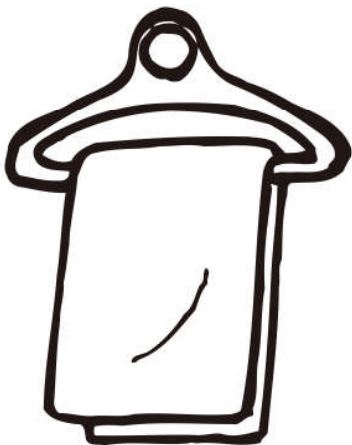
- ① その都度、何がどのように危険かを教える。
- ② 危険回避のために「つみきおに」を教える。

ア) 防犯訓練を行う。・・・警察署の協力を得る。
イ) 「つみきおに」を具体的に伝える。

「つ」・・・ついて行かない
「み」・・・みんなといつも一緒
「き」・・・きちんと知らせる
「お」・・・大声で助けを呼ぶ
「に」・・・逃げる



| | ねらい | 内容 |
|---|----------------|---|
| 4 | 幼児が体のすばらしさを知る。 | (1) 体の部位の名称が言え、各部位の働きに関心をもつ。 |
| | | (2) 体を清潔に保つ。(手の洗い方、汗の始末など) |
| | | (3) 基本的な動き(転がる、回る、走る、ジャンプする、投げるなど)を通して、できた喜びを感じる。 |
| | | (4) 自分の健康に関心をもち、健康であることの喜びを感じる。 |



内容保育者の援助・配慮事項

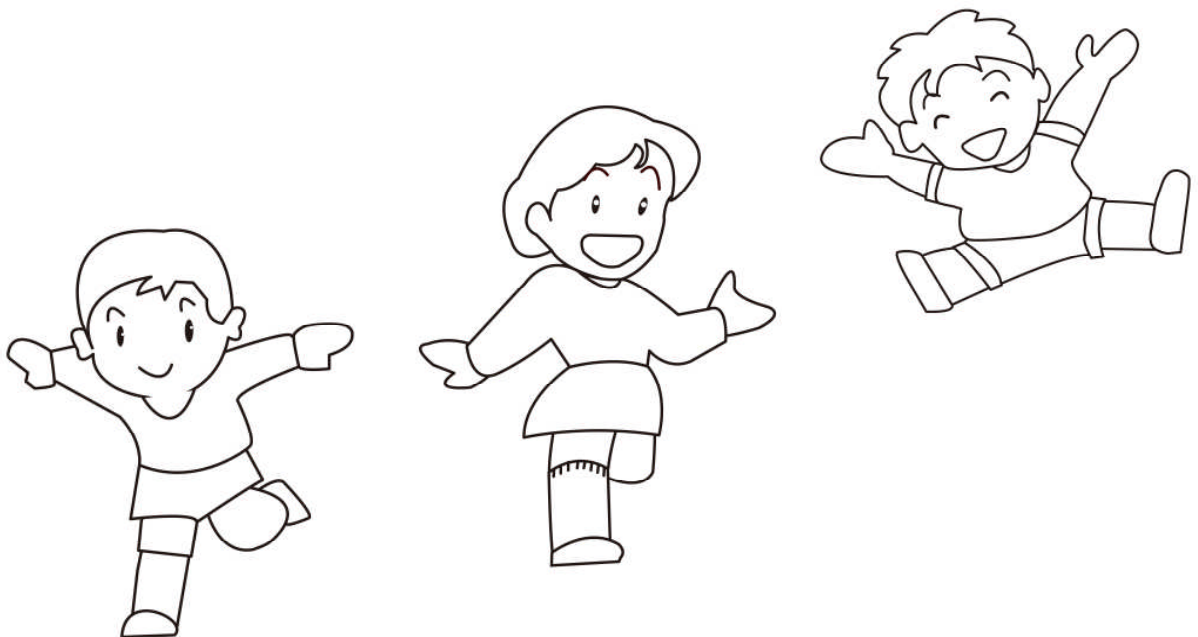
- ①紙芝居や絵本を用いて、体の名称や体の機能、清潔の必要性などについて伝える。
- ②人間の体には2つあるものが多いことを知らせたり、体の仕組みのすばらしさを感じさせたりする。
- ③みる、きく、かぐ、ふれる、あじわうなどの体験をさせ、五感を育てる。

体の名称は俗語でも良い。
ここで大事なことは、体のすばらしさとプライベートゾーンがあることを子どもに伝えることである。

- ① 体の汚れやすいところを教え、トイレの使い方や入浴の仕方を教える。
- ② 排泄後のお尻の拭き方を、特に女兒に教える。

- ① 基本的な動きを取り入れた遊びの環境を整える。
- ② 基本的な動きを取り入れた遊びを行う。
- ③ 基本的な動きの繰り返しによって、身のこなしが上手になることを気づかせる。
- ④ いろいろな遊びの中で基本的な動きや技能を十分に経験できるよう計画し、継続していけるようにする。

- ① 病気やケガの経験を通して健康であることの喜びを感じさせる。
- ② 自分の健康や体について関心をもち、食べ物や運動、生活のリズムの大切さなどについて、子ども自身が気づくように場面を捉えて伝える。
- ③ 健康診断を通して、体の仕組みや健康の大切さを知らせていき、関心をもてるようにする。



| | ねらい | 内容 |
|---|----------------------|-----------------------------------|
| 5 | 幼児が自分の意思を言葉や態度で表現する。 | (1) 周りの人の話を静かに聞く。 |
| | | (2) 自分の思いを他の人に伝える。 |
| | | (3) 様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。 |
| | | (4) 「なぜ?」、「どうして?」などの興味関心を深める。 |



内容保育者の援助・配慮事項

- ① 子どもの話をゆっくり、じっくり聞くことで、子どもに人の話の聞き方を教える。
- ② 相手の話を聞く習慣を身につけさせる。
- ③ 考えや思いをのびのびと表現できる場を設ける。
- ④ 保育者が聞き役になって、自信をもって話せるよう繰り返し指導する。
- ⑤ 人の話を静かに注意して聴ける態度を育てる。

- ① 自分がイヤなことは、はっきりイヤとすることができるようにする。
- ② 意思を相手に伝えられない子に対しては、時には保育者が代わって表現をし意思表示の方法を教える。
- ③ (◇)CAPや防犯寸劇などをおして、必要なときに大声で拒否を表現する練習をする。
- ④ 人の嫌がることを言ったりしないことを教え、嫌なことははっきり断ることも大事であることを教える。

警察署やCAPの協力を得る。

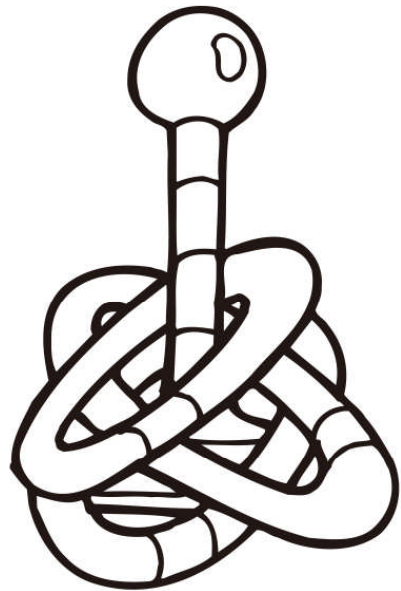
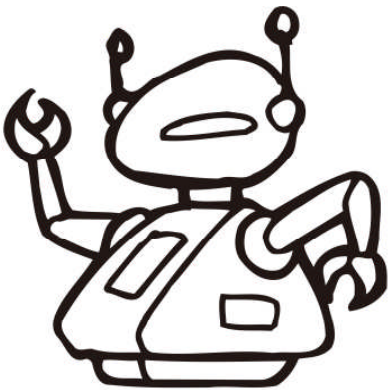
(*CAP・・・子ども自身が人権意識をしっかりとち、暴力から自分自身を守るための知識の普及活動を行っているNPO法人。)

- ① 新しい遊びや活動に挑戦させ、できた喜びを感じることができる環境をつくる。

- ① 興味、関心をもったことや疑問に感じたことを追求でき、知ることの喜びを味わえる環境をつくる。

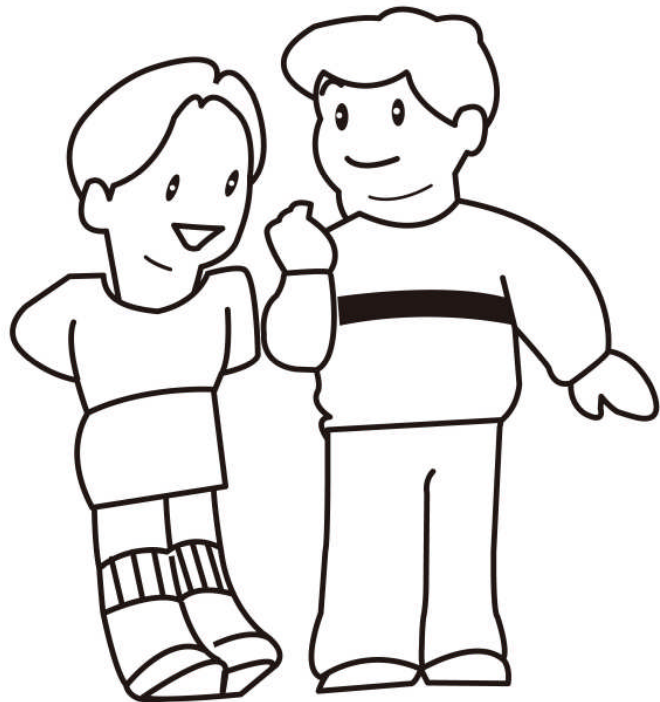


| | ねらい | 内容 |
|---|-------------------------|--|
| 6 | 幼児が身近な人に親しみをもち、関わりを深める。 | (1) 誰とでも仲良く遊ぶ。 (自分より年上の子、年下の子、近所の子) |
| | | (2) 遊びのルールを守って遊ぶ。 |
| | | (3) 遊びを通してコミュニケーションスキルを獲得する。 |

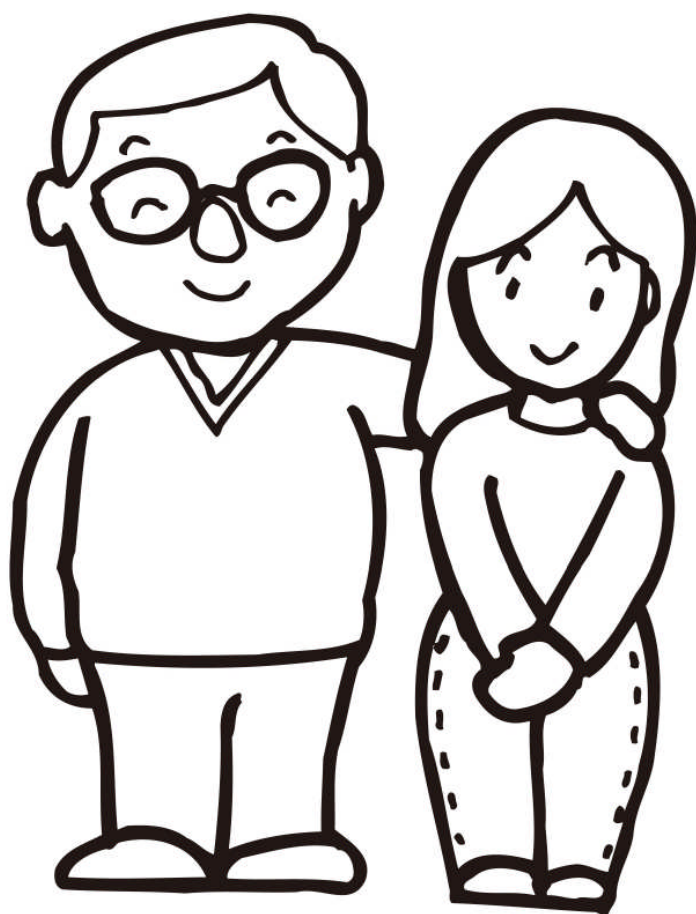


内容保育者の援助・配慮事項

- | |
|---|
| ① 子ども同士のけんかの時は、双方の話を良く聞き、自分たちで解決できるように援助する。 ② 相手に危害を加える心配のないけんかは、じっと見守ったり、声をかけたりする。 ③ 異年齢との関わりを大切にし、楽しく親しみをもって触れ合う時間をもつ。 ④ 身近な人に親しみをもち、交流が生まれる楽しさを味わえる機会をもつ。 |
| ① 複数の友だちとの遊びを奨励する。 ② 遊びにはルールがあることを教え、仲良く遊ぶにはルールを守って遊ぶことを伝える。 |
| ① 友だちとの関わりをとおして、我慢したり、思いやりをもったりして遊べるよう援助する。 ② 幼児の思いを受け止め、その思いを友だちに伝えていくことで友だちとの関わりを深め、相手の良さに気づかせたりする。また、思いやりや我慢することの大切さにも気づかせる。 ③ 集団遊びをとおして友だちづくりをする。 |



保 護 者 編



幼児期の生（生きること）の健康教育プログラム

保護者編：保育者が保護者に対する支援プログラム

（目標）「思いやりをもって仲良く遊び、 “いのちを大切にする” 子ども」

| | ね ら い | 内 容 |
|---|-----------------------------|--|
| 1 | 親は子に基本的生活習慣を身につけさせる。 | (1) 早寝、早起き、朝ご飯の生活リズムを整えさせる。 (2) 食事のマナーを教える。 (3) 規則的な排便を習慣づける。 (4) 片づけ・身支度ができるようにする。 (5) 手洗い、歯みがきを習慣づける。 (6) お風呂の入り方や体の洗い方、おしりの拭き方を伝える。 (7) 状況に応じたあいさつができるようにする。 (8) 時間を決めてテレビを見る習慣をつける。 |
| 2 | 親は子に家族や友だち、動植物などの命の大切さを伝える。 | (1) 子どもが生まれたときの喜びを子どもに伝える。 (2) タッチング、入浴などで親子のコミュニケーションを図り愛情を育む。 (3) 自然や動植物にふれあわせる。 (4) お年寄りとふれあわせる。 (5) 友だちをいたわる気持ちを育てる。 (6) 家で友だちとの遊びの話を聞く。 |
| 3 | 親は子に命のつながりを伝える。 | (1) 出産、出生時のことを話す（アルバム、ビデオ等を利用して） (2) 生まれてきたときの喜びと感謝を伝える。 (3) 子どもの成長を喜ぶ。 (4) 祖父母と両親、子どもとの繋がりを話す。 (5) 祖父母や先祖の存在について話す。 |
| 4 | 親は子に体のすばらしさを教える。 | (1) 男女の体の違いや体の働きについて、子どもに伝える。 (2) 写真、ビデオ等をとおして子ども自身の成長を実感させる。 (3) 子どもの年齢に応じた心身の発育発達を知り、子どもの成長を共に喜ぶ。 (4) 子どもの質問に逃げずに答える。 |
| 5 | 親は子に自分の意見を表現する方法を教える。 | (1) 子どもの話をじっくり、ゆっくり聞く。 (2) イヤなことにはイヤと言える力を育てる。 (3) 相手の目を見て話すことやはっきりと話すことの大切さを教える。 (4) 遊ぶ上での約束について教える。 (5) 「ありがとう」「ごめんなさい」を言うことの大切さを教える。 (6) 子どもを誉め、子どもに自信をもたせる。 (7) 地域との交流を図り、子どもを守り育てる地域づくりをしていく。 |

| | ねらい | 内容 | 保護者の行動 |
|---|-----------------------|--------------------------------|---|
| 1 | 親は子に基本的な生活習慣を身につけさせる。 | (1) 早寝、早起き、朝ご飯の生活リズムを整えさせる。 | ① 幼稚園や保育所の登園時間に合わせた起床時間の習慣を、身につけさせる。 ② 親が子供の生活リズムに合わせた生活を送れるようにする。 |
| | | (2) 食事のマナーを教える。 | ① 食事の時間はテレビのスイッチをきる習慣をつける。 ② はしの使い方、茶碗の持ち方を教える。 ③ 家族で食事をとる。 |
| | | (3) 規則的な排便を習慣づける。 | ① 朝食後又は登園前にトイレに行くことを習慣づける。 ② 食事の内容に気をつけて、規則正しい排便ができるようにする。 ③ 排泄の後始末ができ、人に迷惑をかけないトイレの使い方ができるように教える。 ④ 体と食物の関係に興味をもてるよう話をする。 |
| | | (4) 片付け・身支度ができるようにする。 | ① 時間を決めて片付けに取り組ませる。 ② 自分で衣類を着脱し、必要に応じて調節できるようにする。 ③ みんなが使うものを大切にできるようにする。 |
| | | (5) 手洗い、歯みがきを習慣づける。 | ① うがいや手洗いの意味がわかり、体や身の回りを清潔にすることができるようにする。 ② どんな時に手洗いをするか教える。 ③ 食後や寝る前に歯をみがくことを習慣づける。 |
| | | (6) お風呂の入り方や体の洗い方、おしりの拭き方を伝える。 | ① 親と一緒に入浴しながら、体の汚れやすい場所（足、髪の毛、おしり、性器）や洗い方を教える。 ② 特に女兒はおしりの拭き方を教える。 ③ 「体を清潔にすることが、体を守ること」を教える。 |
| | | (7) 状況に応じたあいさつができるようにする。 | ① 親と一緒に入浴しながら、体の汚れやすい場所（足、髪の毛、おしり、性器）や洗い方を教える。 ② 特に女兒はおしりの拭き方を教える。 ③ 「体を清潔にすることが、体を守ること」を教える。 |
| | | (8) 時間を決めてテレビを見る習慣をつける。 | ① 見せるテレビ番組を決めておく。 ② テレビは親子で一緒に見るようにする（話をしながら）。 |

| 保護者の援助・配慮事項 |
|--|
| <p>ア) 保護者に生活リズムチェック表を配布し、記入し提出してもらう。</p> <p>イ) たよりなどを通して、朝食を摂る必要性や生活リズムを整える必要性を保護者へ伝える。</p> <p>ウ) 保護者と保育者、また保護者同士で生活リズムの現状、内容、方法などの情報交換の機会をもち生活習慣を修正できる場を設ける。</p> <p>エ) 親子料理教室等を開催する。</p> <p>オ) 保育参観時、簡単に作れるレシピカードを配布する。（栄養士の協力を得る。）</p> |
| <p>ア) 保護者会で食事のあり方について話をする。</p> <p>イ) たよりに掲載する。</p> <p>ウ) 親子料理教室等を開催する。（栄養士の協力を得る。）</p> |
| <p>ア) 排便チェック表などを配布し活用してもらう。</p> <p>イ) 保護者会で現状を伝えながら話をする。</p> <p>ウ) 排便の有無により、親が子どもの体調を知るきっかけになることを伝える。</p> |
| <p>ア) 片づけ・身支度チェック表を配布し活用してもらう。</p> <p>イ) 保護者会で年齢に応じた対応の仕方を話す。</p> |
| <p>ア) 親子歯みがき教室や歯と口の健康教室等を開催する。（歯科衛生士の協力を得る）</p> <p>イ) たよりで手洗いや歯みがきの必要性を知らせる。</p> <p>ウ) 保育園や幼稚園でのハンカチ、ティッシュの持参確認をする。</p> <p>エ) たよりで体の清潔についての必要性を伝える。</p> <p>オ) 保護者会で年齢に応じた対応の仕方を話す。</p> |
| <p>ア) たよりで体の清潔についての必要性を伝える。</p> <p>イ) 保護者会で年齢に応じた対応の仕方を話す。</p> |
| <p>ア) 保護者会で話し合いをもつ。（スローガンの提示。例えば、親同士があいさつをする。）</p> <p>イ) あいさつ運動を実施する。</p> <p>ウ) 保護者と保育者が明るく、元気に、笑顔であいさつを交わす。</p> |
| <p>ア) たよりで必要性を伝える。</p> <p>イ) 保育参観などで、親子遊びをしながら、家庭での関わり方を知らせる。</p> |

| | ねらい | 内容 | 保護者の行動 |
|---|-----------------------------|--------------------------------------|--|
| 2 | 親は子に家族や友だち、動植物などの命の大切さを伝える。 | (1) 子どもが生まれたときの喜びを子どもに伝える。 | ① 写真やビデオ等を利用して誕生の喜びを伝える。 ② 誕生日に子どもが生まれた時の話をする。 ③ 子どもを愛している思いを素直に伝える。 |
| | | (2) タッチング、入浴などで親子のコミュニケーションを図り愛情を育む。 | ① 入浴時に今日あったこと等話をする。 ② 肌と肌のスキンシップで安心感を与える。 ③ 人の話を注意して聞き、相手にわかるように話をすることを教える。 |
| | | (3) 自然や動植物にふれあわせる。 | ① 家庭で花を育てたり、虫を飼ったりする。水やえさを与える大切さや必要性を感じさせる。 ② 自然とふれあう事ができるイベントに参加する。 ③ 身近な動植物の世話を一緒に楽しんで行い、愛情を育てる。 |
| | | (4) お年寄りとはふれあわせる。 | ① 高齢者をはじめ地域の人々など自分の生活に関係の深い、いろいろな人に親しみをもつことができるようにする。 ② 地域の行事に参加する。 ③ 親から積極的に地域のお年寄りなど身近な人の話を聞いたり、話しかけたりする。 |
| | | (5) 友だちをいたわる気持ち育てる。 | ① 年下の子供に親しみをもったり、年上の子供とも積極的に遊ぶ機会を作る。 ② 身の周りの人に、いたわりや思いやりの気持ちをもてるように働きかける。 ③ お手伝いをするを1つ決める。 ④ 手伝ったり、人に親切にすることや親切にされることの喜びを感じられるようにする。 ⑤ 共同のものを大切に、譲り合って使うことを教える。 ⑥ きまりの大切さに気づき、守れるようにする。 |
| | | (6) 家で友だちとの遊びの話を聞く。 | ① 寝る前や入浴時、食事を摂る時などに、ゆっくり子供の話を聞く。 ② 見たことや聞いたことを話したり、疑問に思ったことを尋ねる。 |

保護者の援助・配慮事項

ア) 保護者会で講演会を開催する。
 イ) 保育参観後に保護者同士の話し合いや情報交換をする。
 ウ) 保育参観時に、子どもの写真を持ち寄り、親子で話をする。
 エ) たよりに掲載する。
 オ) 保護者同士の交流を図り、親同士が友人関係になり命の大切さを伝え合う環境を整える。

ア) 保護者会で講演会を開催する。（具体的なタッチングや親子体操などの実践）
 イ) 保育参観後に保護者同士の話し合いや情報交換をする。
 ウ) たよりに掲載する。

ア) 保護者会で講演会を開催する。
 イ) 保育参観後に保護者同士の話し合いや情報交換をする。
 ウ) 親子で自然とふれあえるイベントを開催する。
 エ) 夏休みに野菜の苗を育てる課題をだす。（絵を描いたものを夏休みあけに提出させる。）
 オ) たよりに掲載する。
 カ) シルバー人材センターを活用する。
 キ) 森の案内人や水の案内人を活用する。

ア) 地域のお年寄りとふれあう機会をつくる。
 イ) 保育参観時に、保育所や幼稚園で昔遊びを行う。
 ウ) 保護者と一緒に高齢者関係の施設を訪問する。
 エ) 保護者会で講演会を開催する。
 オ) たよりに掲載する。

ア) 保護者会で講演会を開催する。
 イ) 保育参観後に保護者同士の話し合いや情報交換をする。
 ウ) たよりに掲載する。

ア) 保護者会で講演会を開催する。
 イ) 保育参観後に保護者同士の話し合いや情報交換をする。
 ウ) たよりに掲載する。

| | ねらい | 内容 | 保護者の行動 |
|---|-----------------|----------------------------------|--|
| 3 | 親は子に命のつながりを伝える。 | (1) 出産、出生時のことを話す（アルバム、ビデオ等を利用して） | ① 2- (1) と同じ |
| | | (2) 生まれてきたときの喜びと感謝を伝える。 | ① 出産時のことや感動したことを、日ごろの会話の中で話をしていく。 ② 写真やビデオ等を一緒に見ながら話をする。 ③ 誕生日に「生まれてくれてありがとう」のメッセージを伝える。 ④ 名前の由来を話す。 |
| | | (3) 子どもの成長を喜ぶ。 | ① 生まれてからの成長を、実際の長さや重さにおきかえてみる。 ② 誕生日ごとに写真を飾ってみる。 ③ いつでも見守っていることを感じとれるよう、子どもと話し合う機会をもつ。 |
| | | (4) 祖父母と両親、子どもとの繋がりを話す。 | ① 子どもと一緒にアルバムの整理を行う。 ② 家族の誕生日に命の繋がりについて話をする。 ③ 仏壇に手を合わせたり、墓参りを一緒に行う。 ④ 祝祭日などに関心を持たせるため、伝統行事等を生活の中に取り入れる。 ⑤ 親が祖父母に感謝の気持ちをもつ。 ⑥ 各家庭で月1回、「家族の日」等を設け、両親や祖父母兄弟姉妹への感謝の気持ちを表し伝える機会をもつ。 |
| | | (5) 祖父母や先祖の存在について話す。 | ① 祖父母や先祖の存在をとおして命について話をする。 ② 祖父母と話す機会を多くもつ。 ③ 祖父母や先祖の死について、お墓参りなどの機会を通して伝える。 |



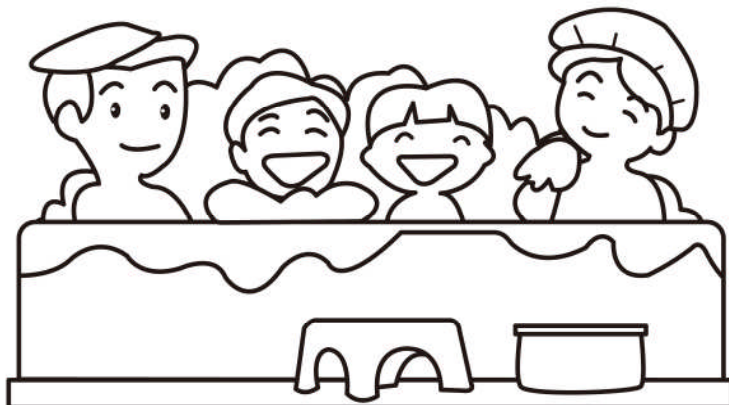
保護者の援助・配慮事項

- ア) 保護者会で講演会を開催する。
- イ) 保育参観後に保護者同士の話し合いや情報交換をする。
- ウ) 保育参観時に、子どもの写真を持ち寄り、親子で話をする。
- エ) たよりに掲載する。
- オ) 保護者同士の交流を図り、親同士友人関係ができ、命の大切さを伝え合う環境を整える。

- ア) 保育参観時に親戚や父母の兄弟などが集まる機会を利用して、命の繋がりを話すことを親に伝える。
- イ) 祖父母学級等の開催を試みる。



| | ねらい | 内容 | 保護者の行動 |
|---|------------------|---------------------------------------|---|
| 4 | 親は子に体のすばらしさを教える。 | (1) 男女の体の違いや体の働きについて、子どもに伝える。 | ① 入浴時に男女の体の違いを話す。 ② 入浴時に体の名称を教える。 ③ ウンチやおしっこが出る仕組みを簡単に教える。 ④ 体と食物の関係を話す。 ⑤ 体の異常について、自分から話せるようにする。 |
| | | (2) 写真、ビデオ等をとおして子ども自身の成長を実感させる。 | ① 親が子どもの成長を言葉で伝える。 |
| | | (3) こどもの年齢に応じた心身の発育発達を知り、子どもの成長を共に喜ぶ。 | ① 子どもができるようになったことや、話せるようになったことなどを書き留めておく。 ② 身体計測した時に、身長が伸びたり、体重が増えたことを誉める。 |
| | | (4) 子どもの質問に逃げずに答える。 | ① 子どもの質問はどんなものであっても決して叱らない。 |



保護者の援助・配慮事項

- ア) 保護者会で講演会を開催する。
- イ) 保育参観後に保護者同士の話し合いや情報交換をする。
- ウ) 保健師、助産師に協力を得る。
- エ) 性器の名称は俗語（子どもが使う呼び名）で良い。ここで大切なのはプライベートゾーンがあることを子どもに伝えること。
医療用語を用いるのは、次の段階（小学生）で良い。
- オ) 子どもの質問ごまかして答えることの弊害について伝える。



| | ねらい | 内容 | 保護者の行動 |
|---|-----------------------|------------------------------------|---|
| 5 | 親は子に自分の意見を表現する方法を教える。 | (1) 子どもの話をじっくり、ゆっくり聞く。 | ① 子どもが、自分の伝えたいことがしっかり相手に伝わる喜びを味わえるようにする。 |
| | | (2) イヤなことにはイヤと言える力を育てる。 | ① 子どもの話を頭ごなしに否定しない。 ② 自分の意見を主張するが、相手の意見も受け入れられるようにする。 |
| | | (3) 相手の目を見て話すことやはっきりと話すことの大切さを教える。 | ① 子どもと話すときは、子どもの目線になる位置で話をする。 |
| | | (4) 遊ぶ上での約束について教える。 | ① 危険なものに近寄ったり、危険な場所で遊ばないように日ごろから話をする。 ② 行き先や帰宅時間を家族に言って出かけるようにする。 ③ 知らない人にはついていかない・・・など教える。 ④ 危険な場所で遊んだ場合、わかりやすく話して聞かせる。 |
| | | (5) 「ありがとう」「ごめんなさい」を言うことの大切さを教える。 | ① 親が手本を示す。 ② 親が子どもに対しても「ありがとう」「ごめんなさい」が言える。 |
| | | (6) 子どもを誉め子どもに自信をもたせる。 | ① 頭をなでる。 ② ささいなことでも誉める。 |
| | | (7) 地域との交流を図り、子どもを守り育てる地域づくりをしていく。 | ① 一緒に地域の行事に参加する。 ② 近所の友達やその兄弟姉妹の名前や顔を覚える。 ③ 身近に住んでいるさまざまな人と交流し、共感しあう体験を通して人とのかかわることの大切さや楽しさを味わうことができるようにする。 |



保護者の援助・配慮事項

ア) 保護者会で、情報交換をし、話し合いを行う。
イ) たよりで必要性を伝える。

ア) 保育参観でCAPをみせる。(CAPの協力を得る。)
イ) 保護者会で、情報交換をし、話し合いを行う。

*CAP・・・子ども自身が人権意識をもち、暴力から自分自身を守るための知識の普及活動を行っているNPO法人。

ア) 保護者会で、情報交換をし、話し合いを行う。
イ) 保護者会で、人の話を聞くマナーを親子で考え、実施することを伝える。

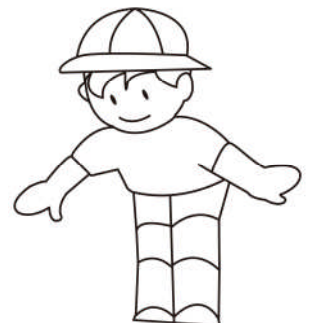
ア) 警察署の協力を得る。
イ) たよりで、「つみきおに」を伝える。
ウ) 幼稚園や保育所で危険箇所のマップを作成する。
エ) 保護者会で、情報交換をし、話し合いを行う。

「つみきおに」
「つ」・・・ついて行かない
「み」・・・みんなといつも一緒
「き」・・・きちんと知らせる
「お」・・・大声で助けを呼ぶ
「に」・・・逃げる

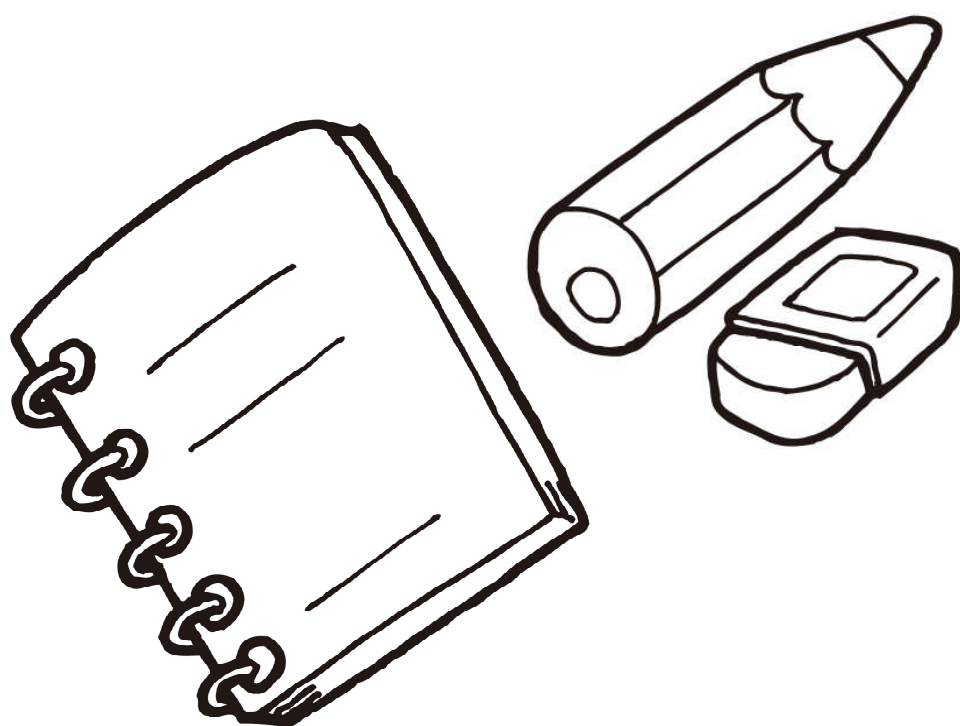
ア) 保護者会で話し合う。
イ) 保育者から積極的に、「ありがとう」「ごめんなさい」を言う。
ウ) 保育参観などで親が役割モデルになるように伝える。

ア) 保護者会で話し合う。
イ) 保育者が子どもの状況（良くできたことなど）を保護者に伝える。

ア) 保護者会で話し合う。
イ) 幼稚園や保育所の行事で、親子と一緒に地域との交流を図る。(バザー、盆踊り、祭りなど)



参 考 資 料



幼児期の生（生きること）の健康教育に関するアンケート調査結果

1 調査目的

管内に住む3歳以上の幼児の日常生活の実態を把握し、幼児期からの「生（生きること）」に関する健康教育プログラム作成の資料とするため実施した。

2 調査期間

平成19年11月26日～12月1日

3 調査方法

調査対象機関（管内の幼稚園、保育所）へ調査票を配布し、各施設から対象者へ調査票の配布及び回収を依頼した。

なお、アンケートは無記名自記式で、アンケート記載後は封書に密封という形で提出を依頼した。

4 調査対象と回収状況

| 調査対象者 | 対象機関数 ※1 | 対象数 | ※2 | 回収数 | ※3 | 回収率 (%) | 有効回答数 ※4 | 有効回答率 (%) ※5 |
|-------|-------------|-----|-----|-----|-----|------------|-------------|--------------------|
| | | | 合 計 | | 合 計 | | | |
| 幼稚園教諭 | 18 | 89 | 287 | 66 | 254 | 74.1 | 218 | 85.8 |
| 保育士 | 22 | 198 | | 188 | | 94.9 | | |
| 保護者 | 保育所：14 | 461 | 981 | 321 | 740 | 69.6 | 729 | 98.5 |
| | 幼稚園：15 | 520 | | 419 | | 80.5 | | |

※1：対象機関は、児童福祉法（無認可保育所を除く）及び学校教育法に基づく施設

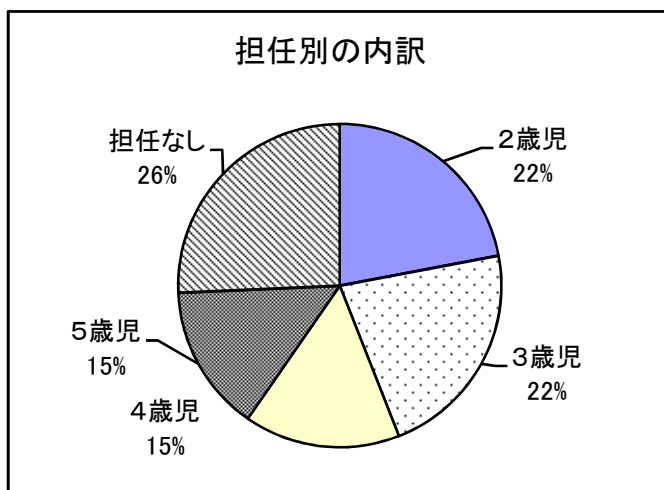
※2：対象数は、各施設から実際に調査を依頼した数

※3：回収数は、対象者のうち調査票を回収した数

※4：有効回答数は、保育士及び保護者に対して3歳以上の子どもについてのみの回答を求めたが0～2歳児について回答分を除いた数

※5：有効回答率＝有効回答数÷回収数×100

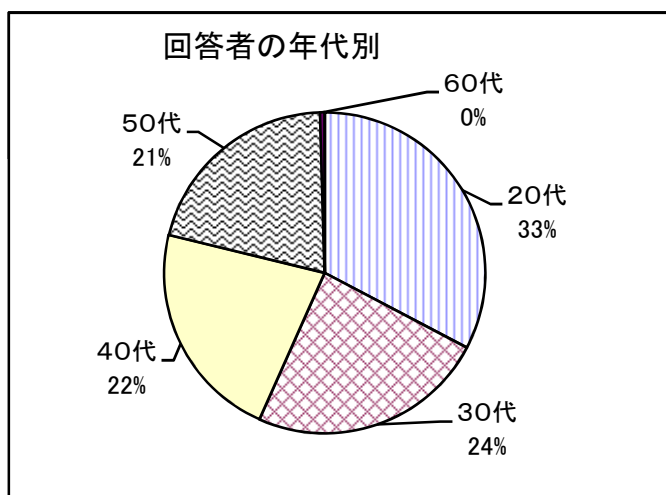
問1、担任別内訳



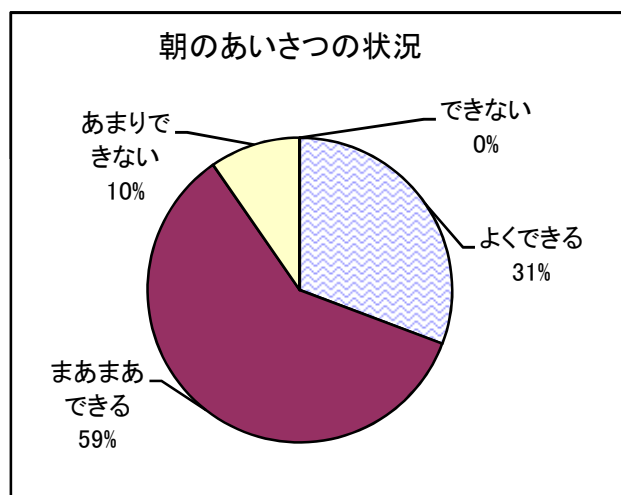
※設問項目に0歳児と2歳児の担任はなかったのだが、0歳児担任と2歳児担任が回答していた。

0歳児担任は0歳児を対象として回答していたので回答者から外し、2歳児担任の回答者の中でも3歳児以上の児を対象に回答したと思われるものを含めた。

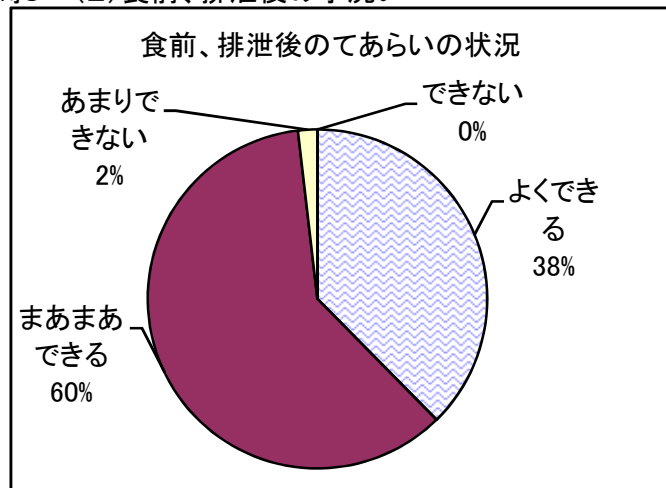
問2、回答者の年代別



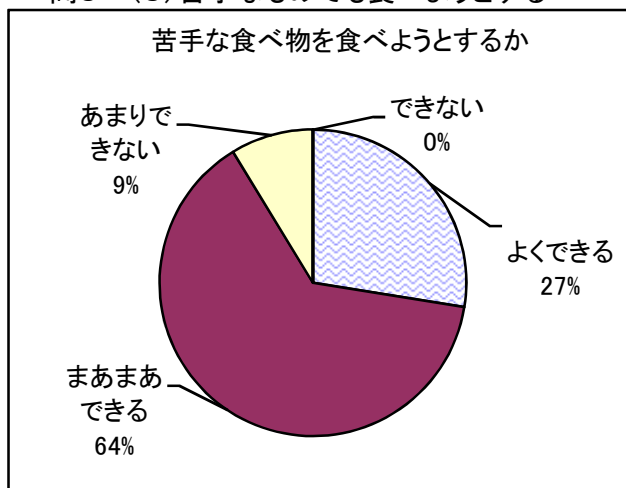
問3－(1)朝のあいさつ



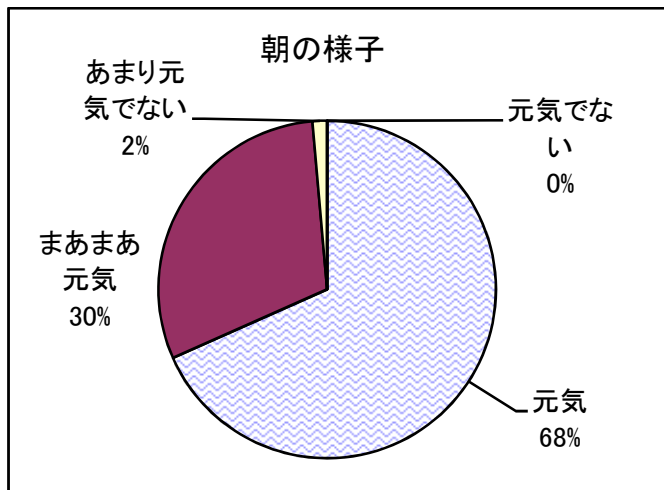
問3－(2)食前、排泄後の手洗い



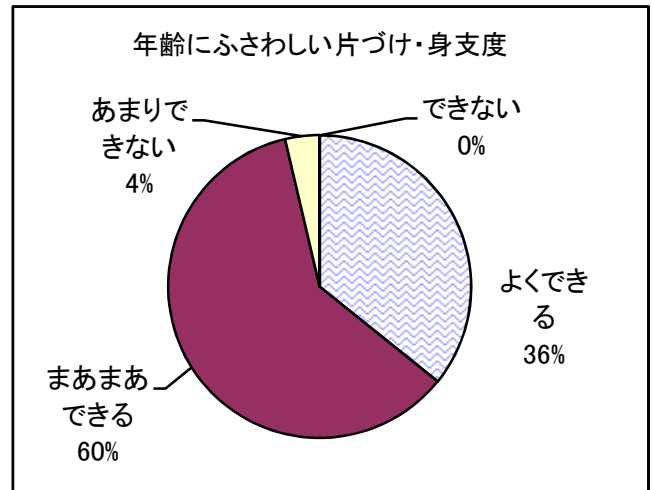
問3－(3)苦手なものでも食べようとする



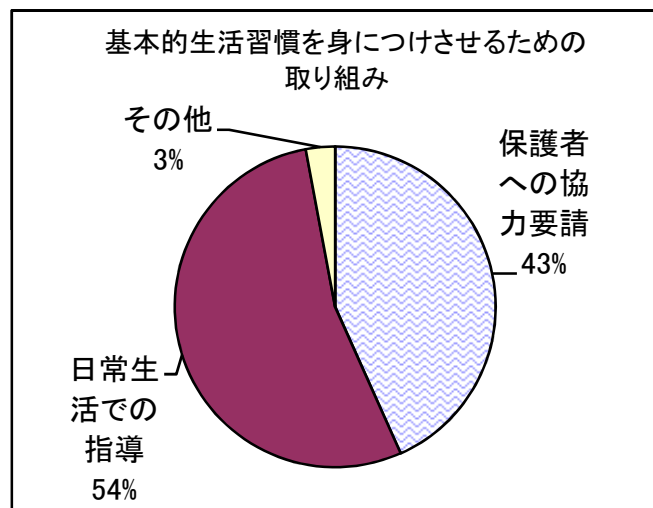
問3ー(4)朝の様子



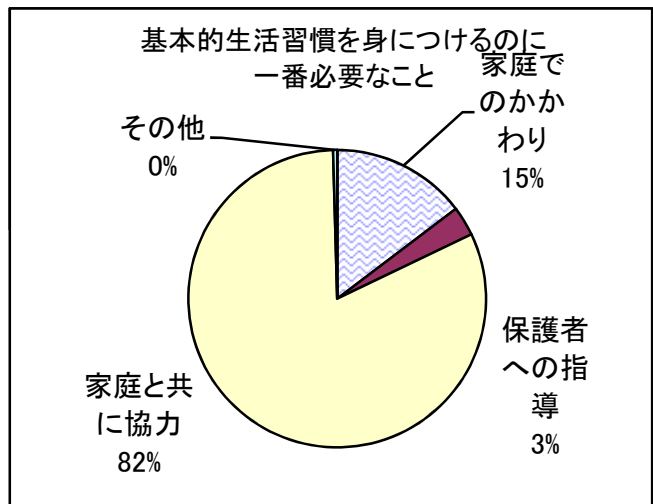
問3ー(5)年齢にふさわしい片づけ・身支度



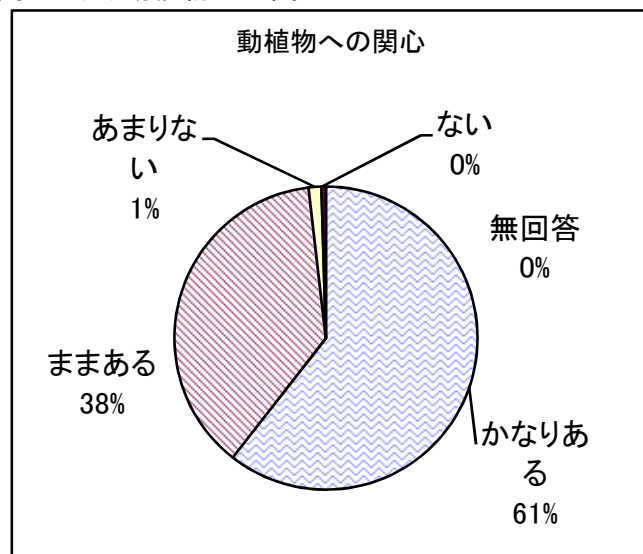
問3ー(6)基本的な生活習慣を身につけさせるための取り組み



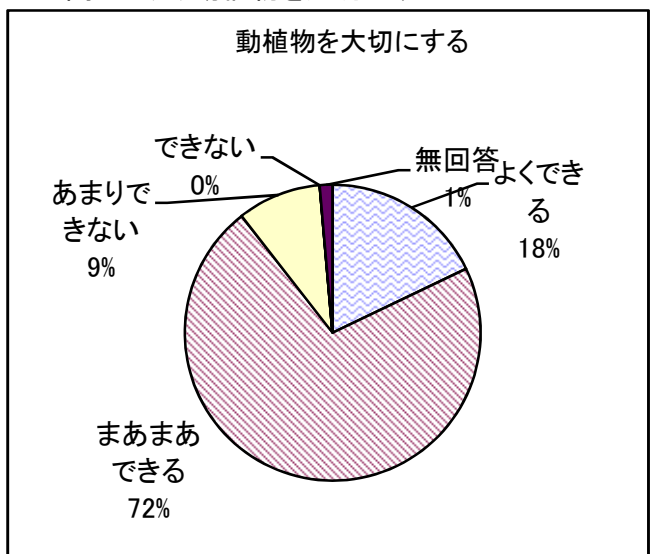
問3ー(7)基本的な生活習慣を子どもが身につけるのに一番ひつようなもの



問4ー(1)動植物への関心

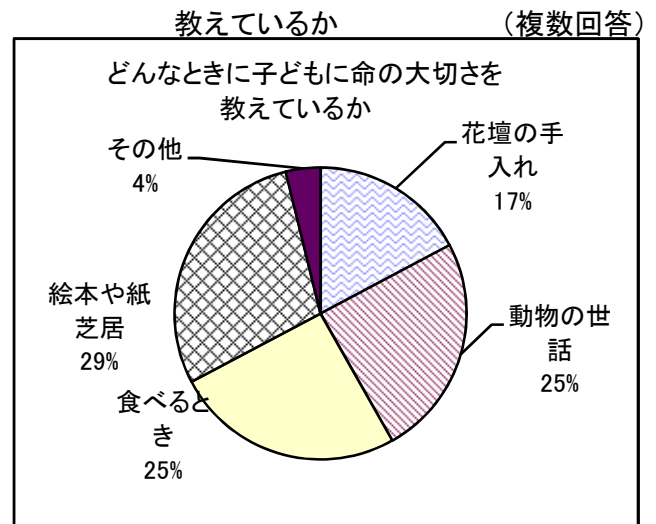
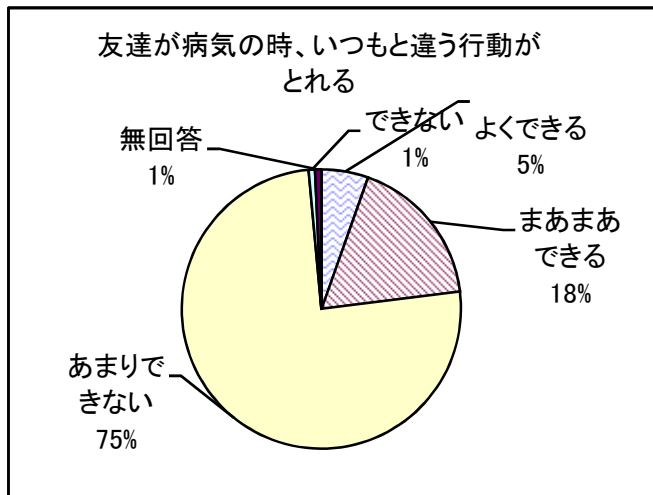


問4ー(2)動植物を大切にする

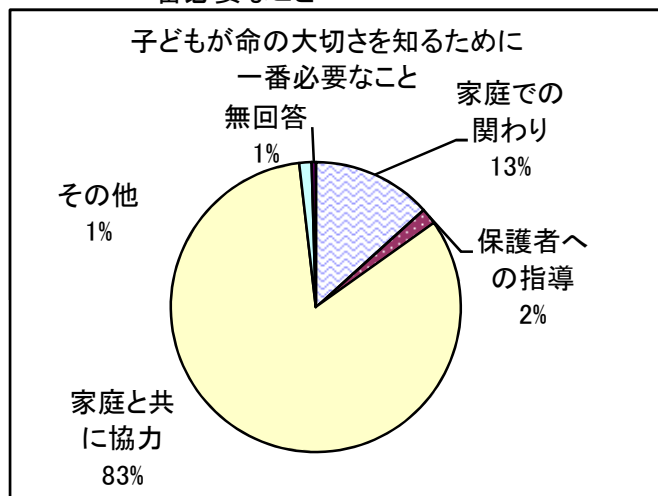


問4ー(3)友達が病気の時、いつもと違う行動がとれる

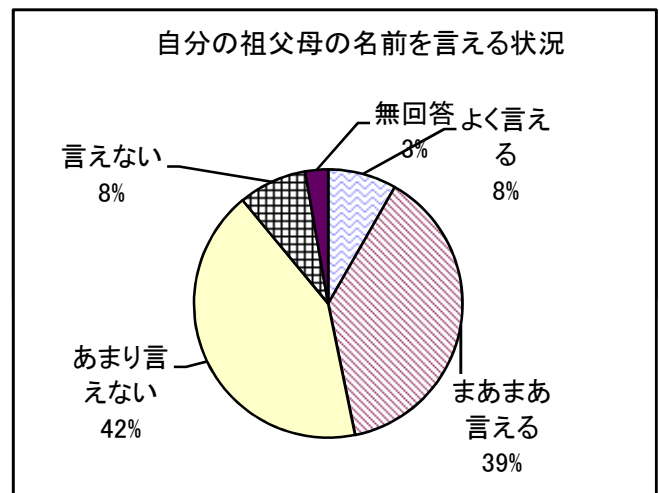
問4ー(4)子どもに命の大切さをどんなときに



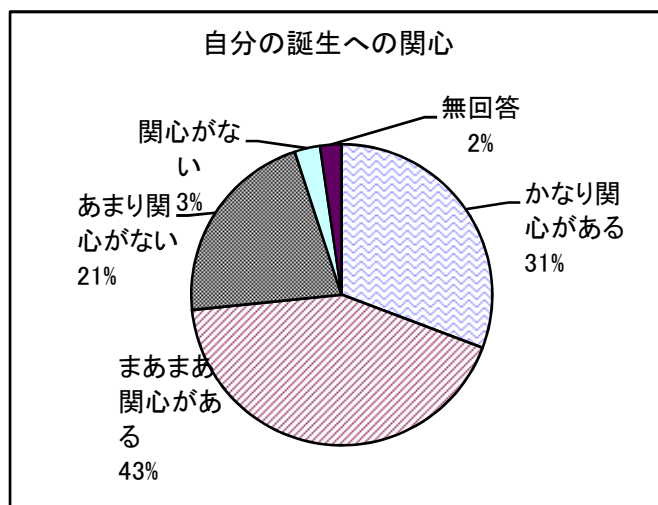
問4-(5) 子どもが命の大切さを知るために一番必要なこと



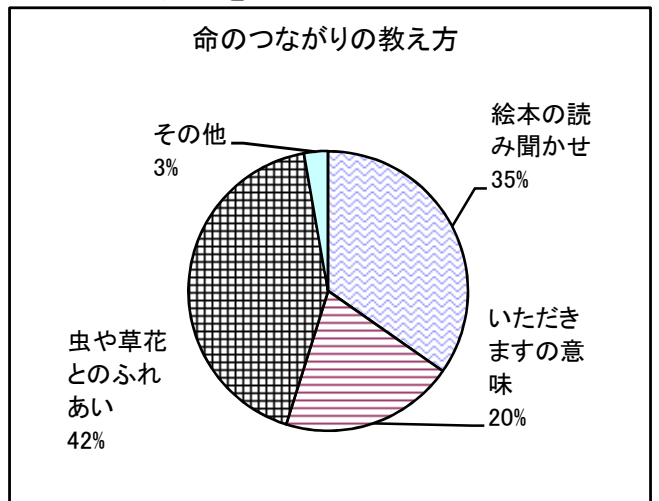
問5-(1) 子どもたちは自分の祖父母の名前を言えるか



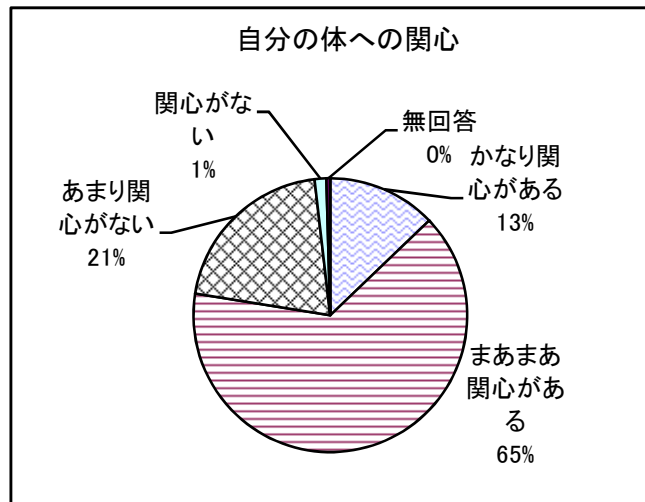
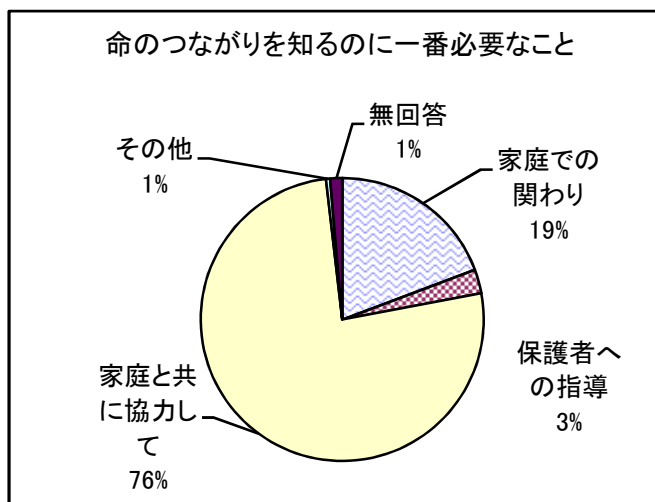
問5-(2) 自分の誕生に関心があるか



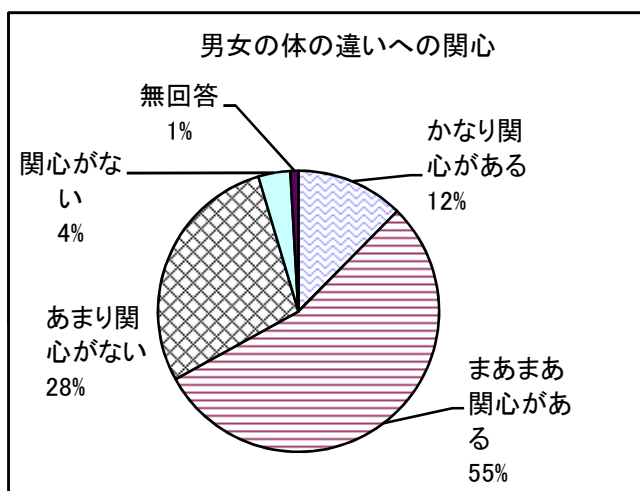
問5-(3) 子どもに命のつながりを教えるためにどんなことをしているか



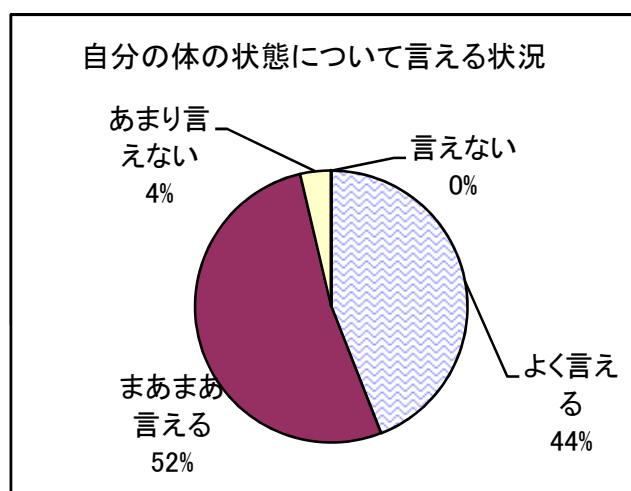
問5-(4) 命のつながりについて子どもたちが知ることと 問6-(1) 自分の体への興味 一番必要なこと



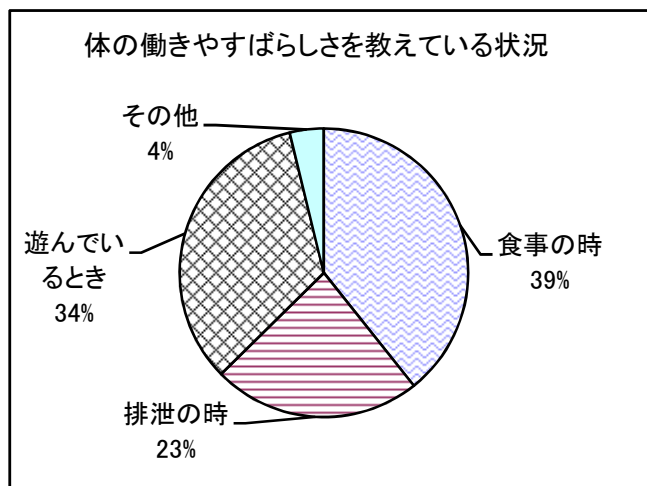
問6－(2) 男女の体の違いへの関心



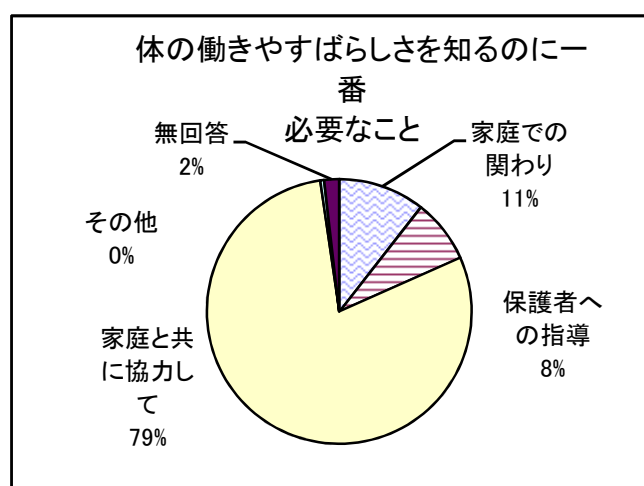
問6－(3) 自分の体の状態について言えるか



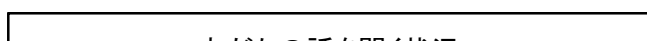
問6－(4) どんな時に体の働きやすばらしさをおしえているか(複数回答)



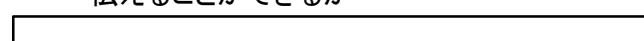
問6－(5) 体の働きやすばらしさを知るのに一番必要なこと

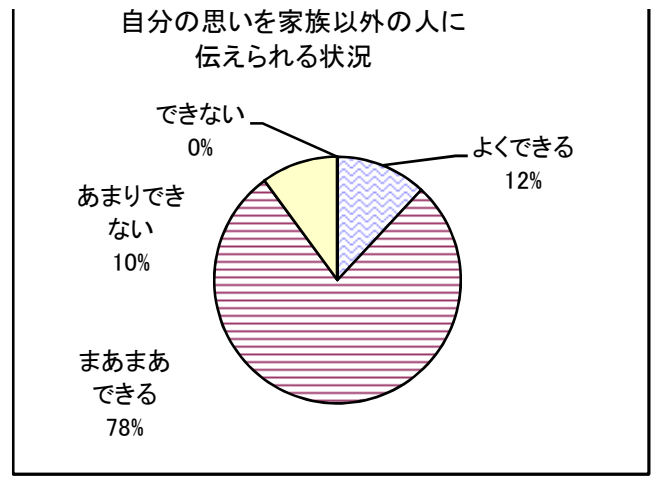
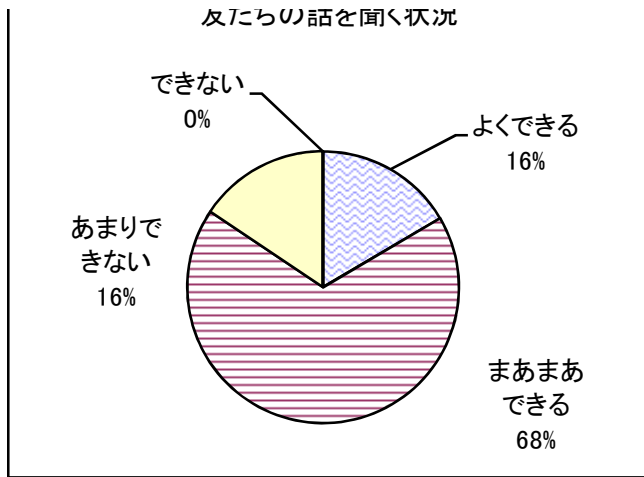


問7－(1) 友だちの話を聞く状況

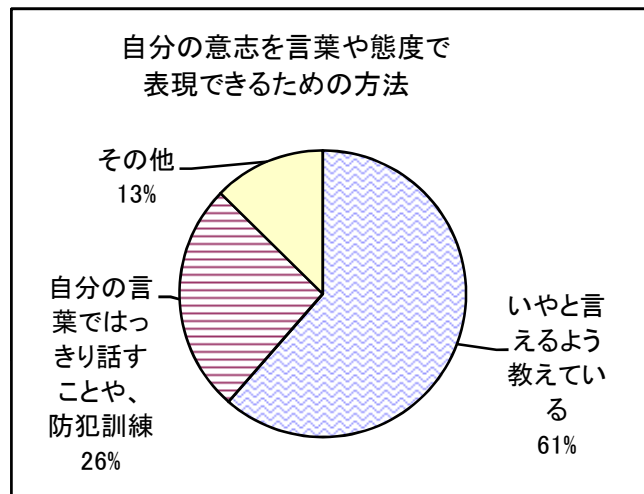


問7－(2) 自分の思っていることを家族以外の人にも伝えることができるか

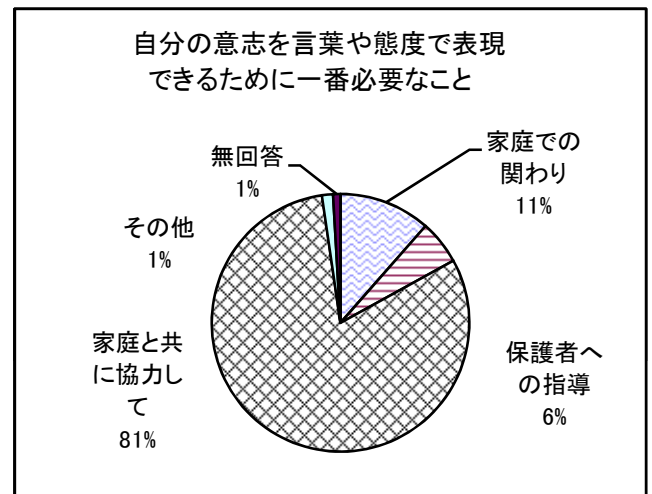




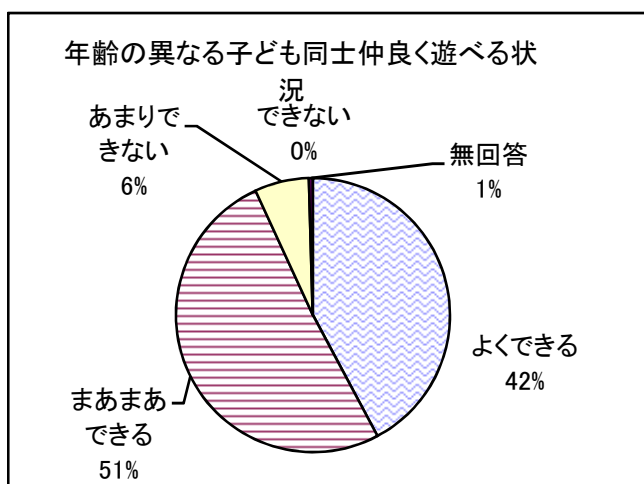
問7-(3) 自分の意志を言葉や態度で表現できるための方法



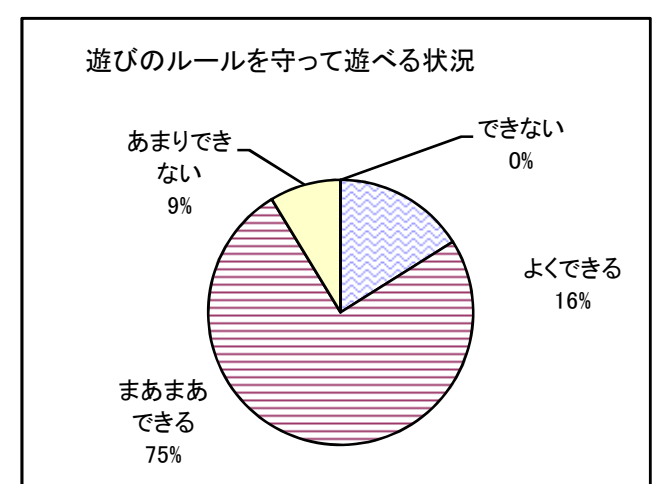
問7-(4) 自分の意志を言葉や態度で表現できるために一番必要なこと



問8-(1) 年齢の異なる子ども同士仲良く遊べる



問8-(2) 遊びのルールを守って遊べる

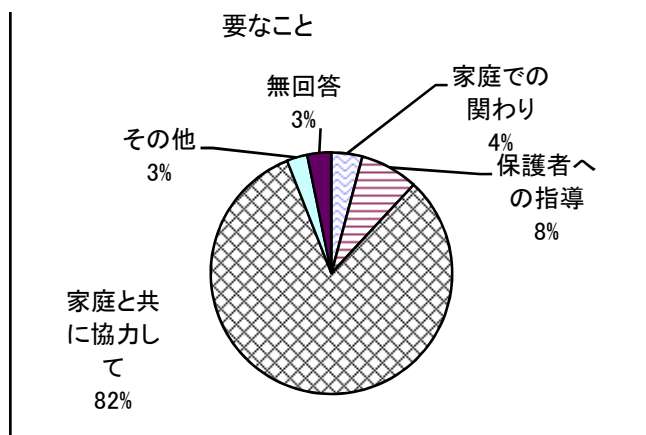
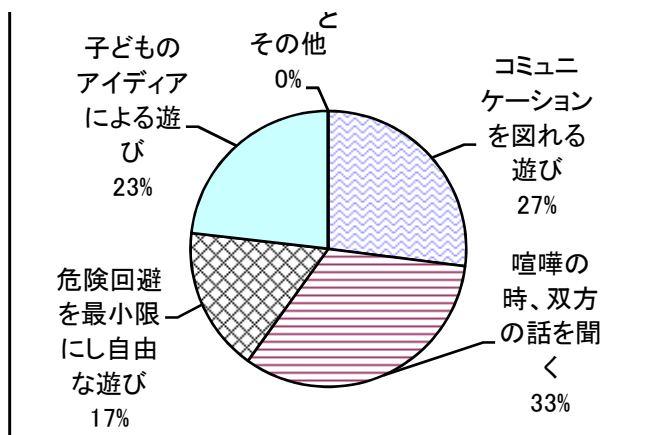


問8-(3) 友だちと積極的に遊べるようどんなことをしているか(複数回答)

友だちと積極的に遊べるようにしているこ

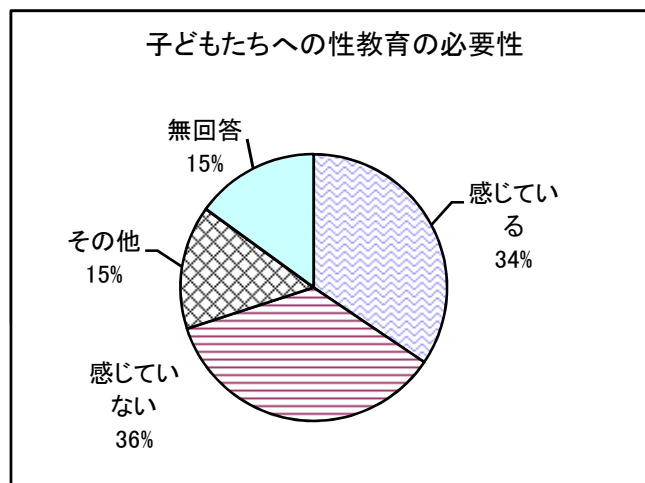
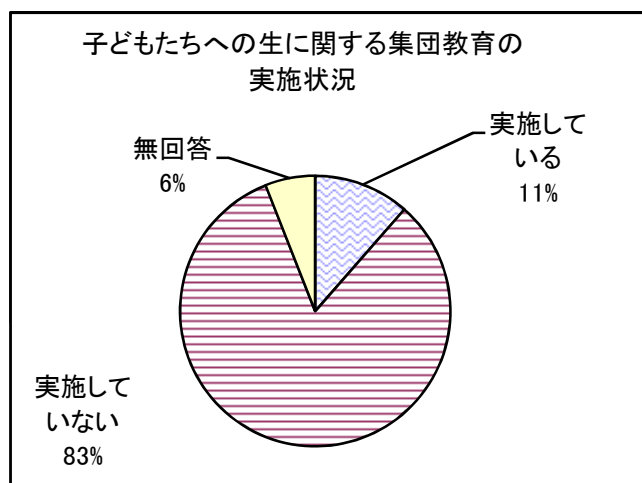
問8-(4) 子どもどうし積極的に遊べるために一番必要なこと

子ども同士積極的に遊べるために一番必



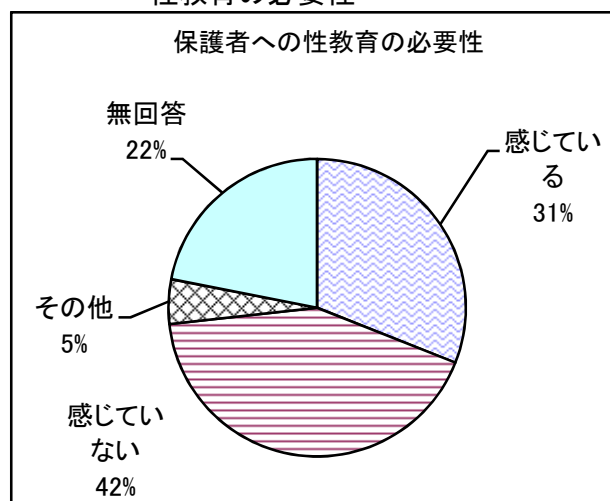
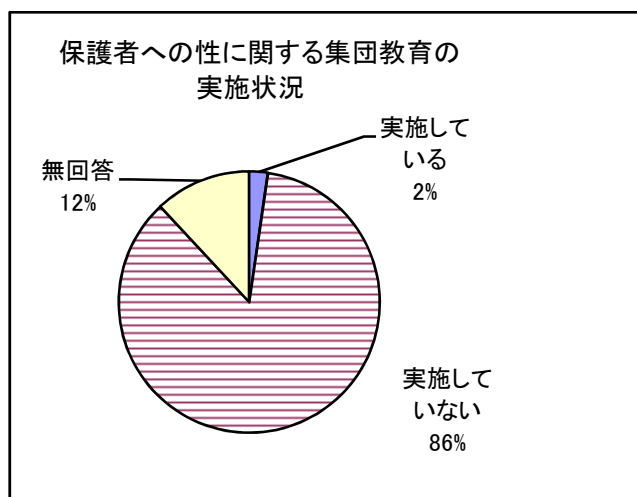
問9－(1)子どもたちに性に関する集団教育

問9－(1)－2実施していない場合のこどもたちへの性教育の必要性



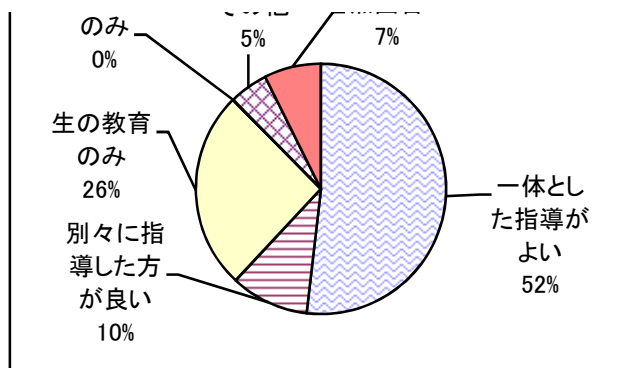
問9－(2)保護者への性に関する集団教育の実施状況

問9－(2)－2実施していない場合の保護者への性教育の必要性



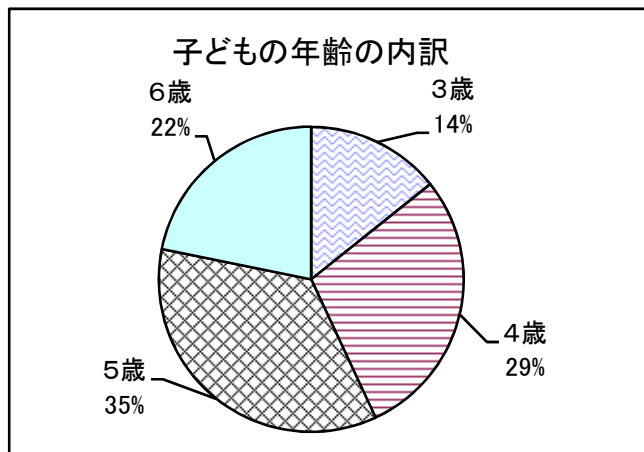
問9－(3)

| 生と性の教育の一体化の指導について | | |
|-------------------|-----|-----|
| 性の教育 | その他 | 無回答 |

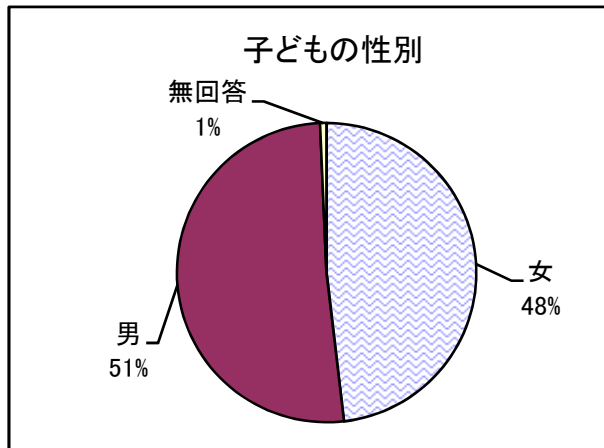


保護者アンケート調査結果

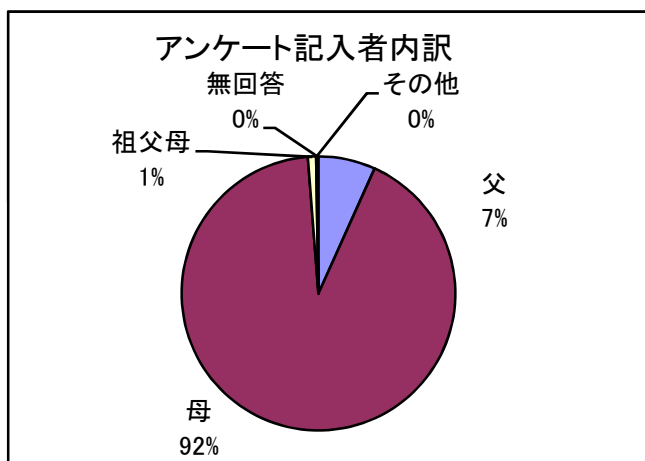
問1、子どもの年齢内訳



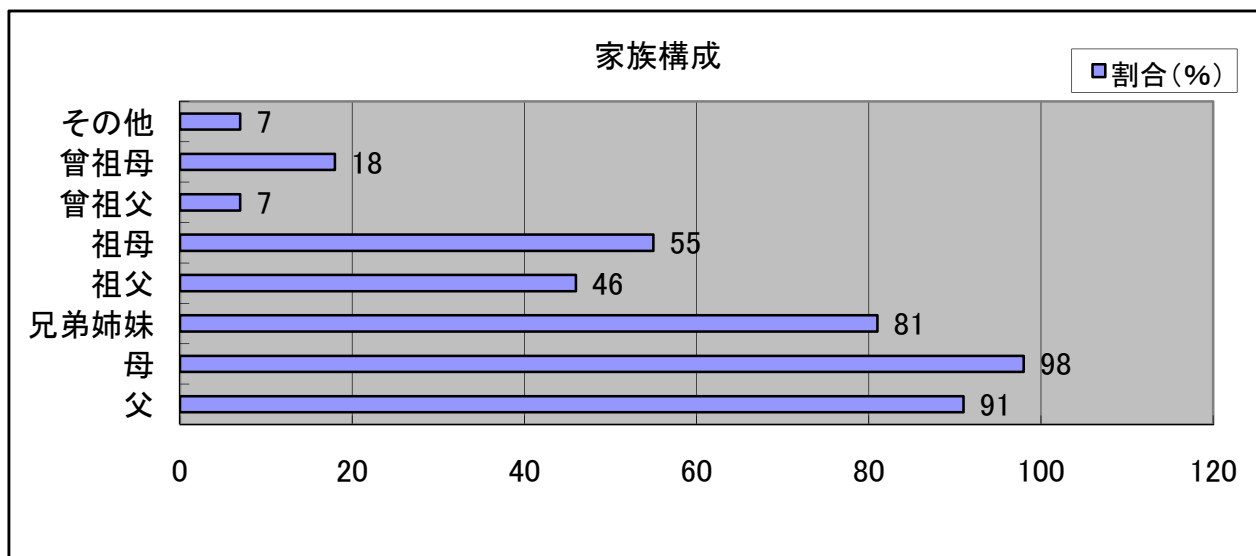
問1、性別



問2、アンケート記入者

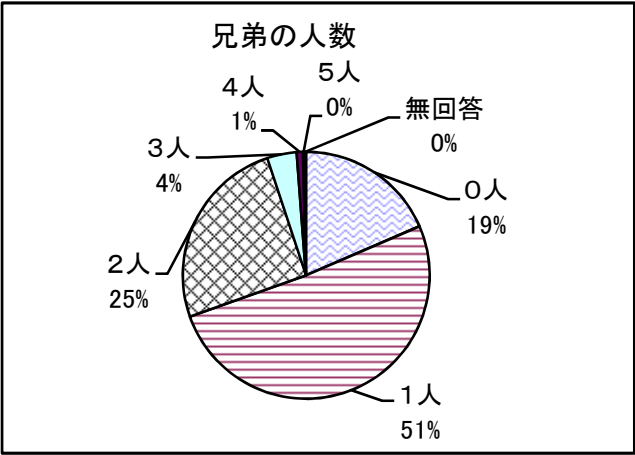


問3、家族構成

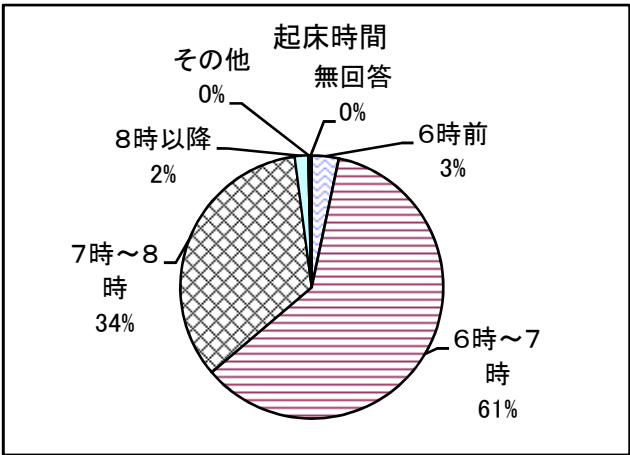


※問3・家族構成と問5の(2)のお年寄りと触れ合う機会の有無とリンクする。回答者の47%が三世代家族である。

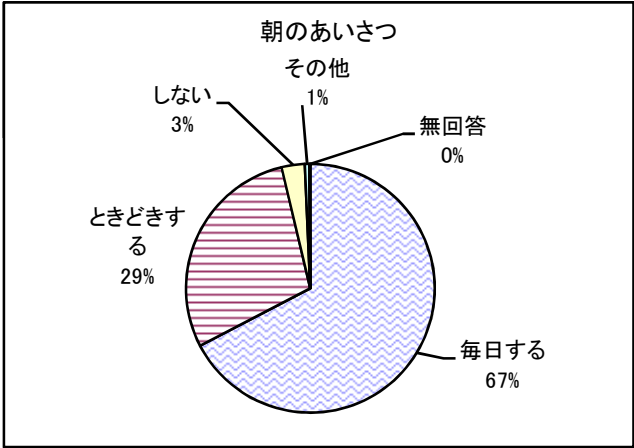
問3、兄弟の人数
 (※0人は兄弟がいない: 本人ひとり)



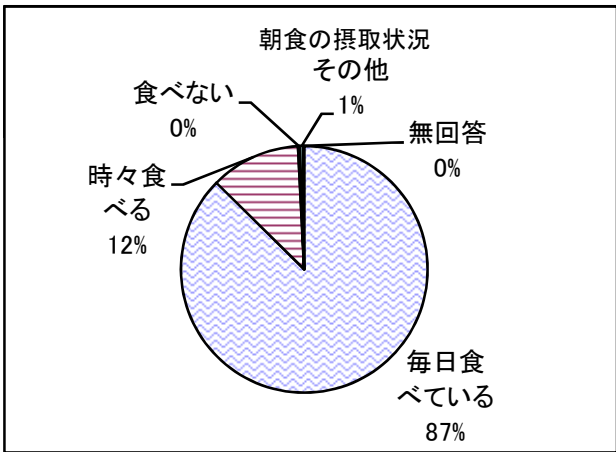
問4ー(1)起床時間



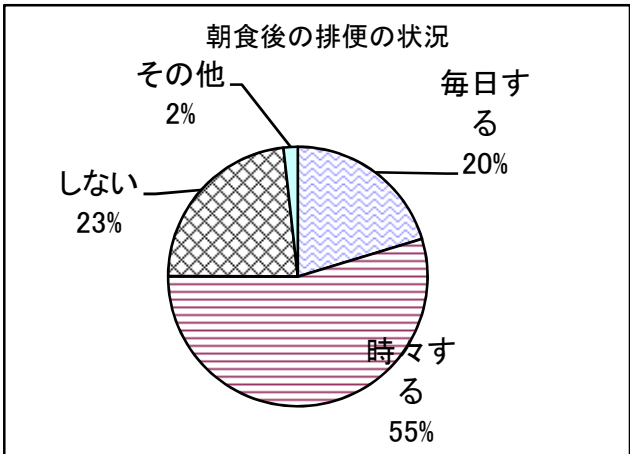
問4ー(2)朝のあいさつ



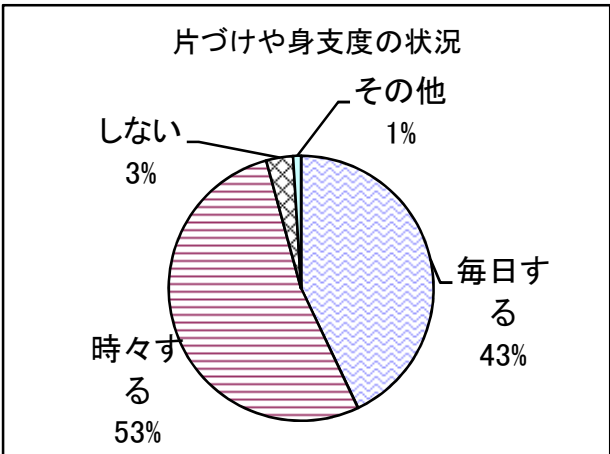
問4ー(3)朝食の摂取状況



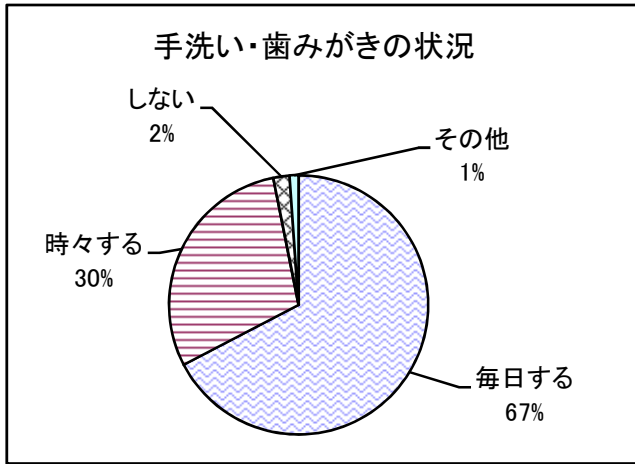
問4ー(4)朝食後の排便



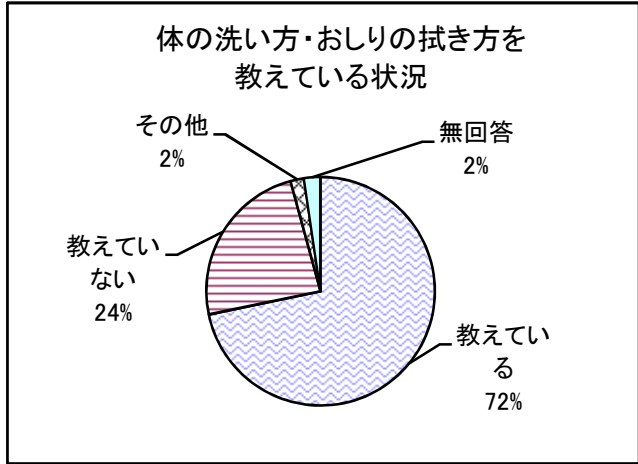
問4ー(5)片づけや身支度の状況



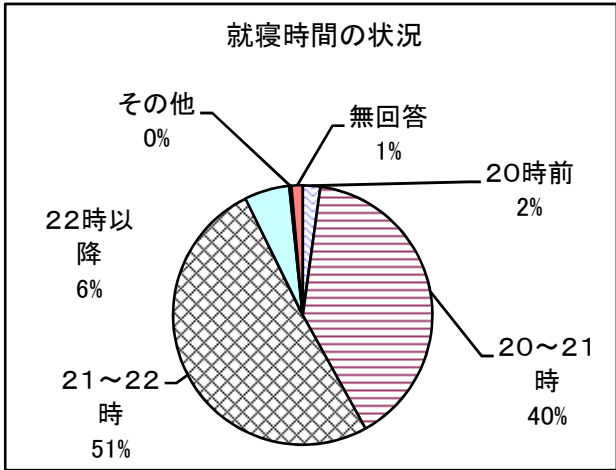
問4(6)手洗い・歯みがきの状況



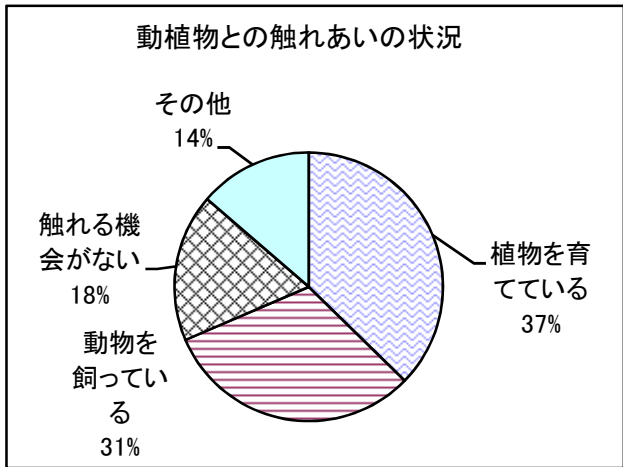
問4(7)体の洗い方・おしりの拭き方を教えている状況



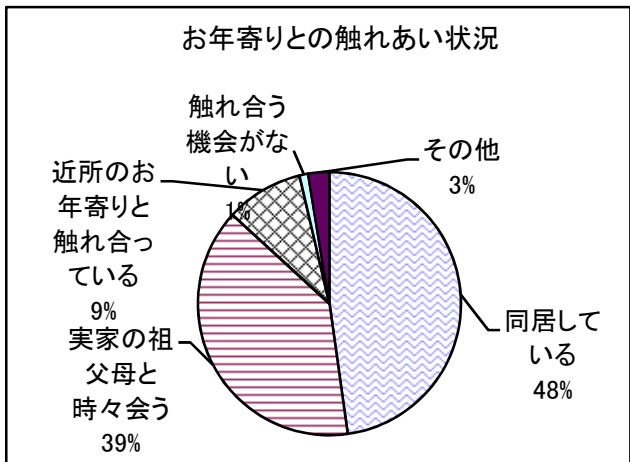
問4ー(8)就寝時間



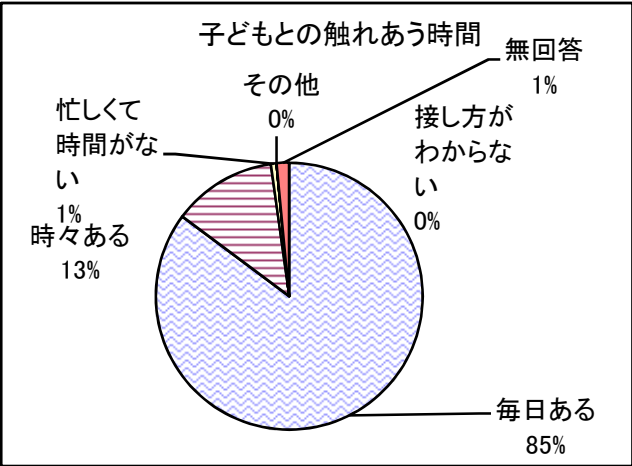
問5ー(1)動植物との触れあい



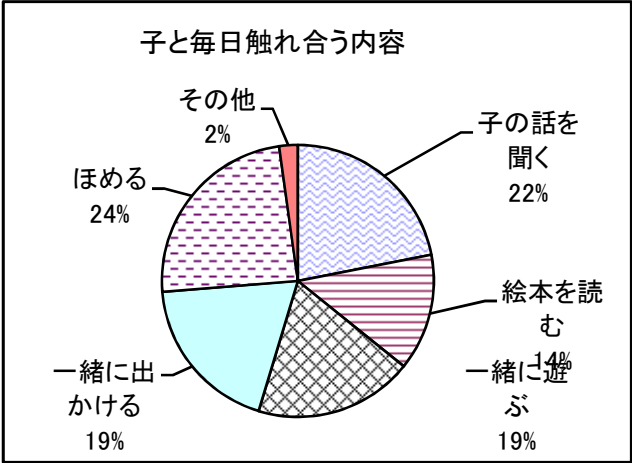
問5ー(2)お年寄りとの触れ合う機会



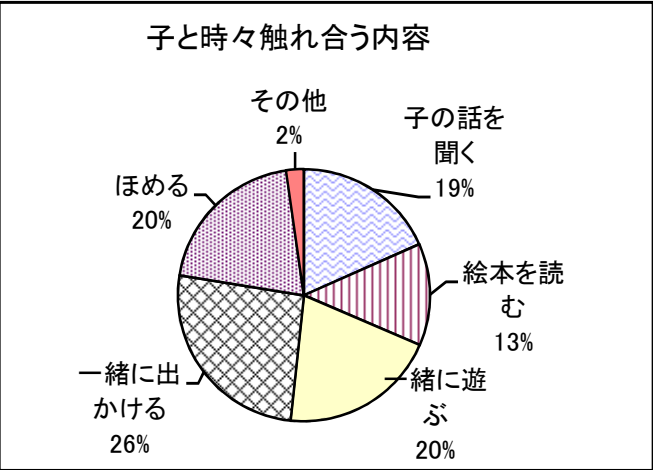
問5－(3)子どもとの触れあい時間



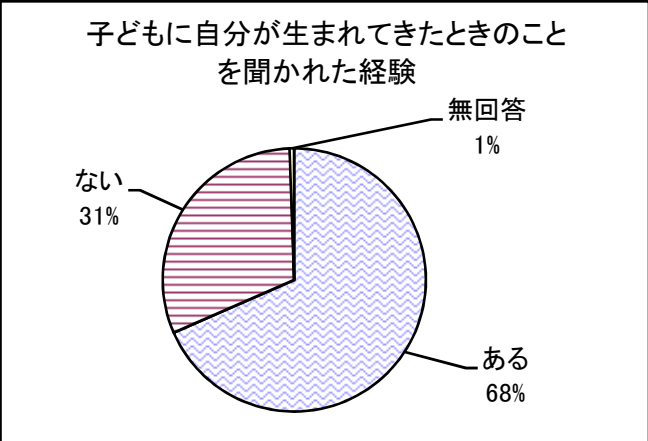
問5－(3)－①毎日ある時の内容



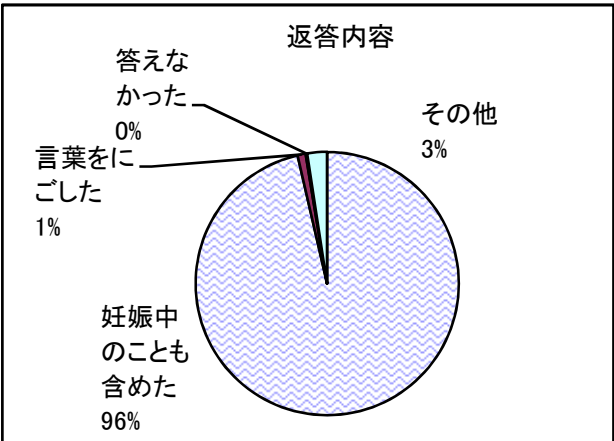
問5－(3)－②時々ある時の内容



問6－(1)子どもに自分が生まれてきたときのことを聞かれた経験

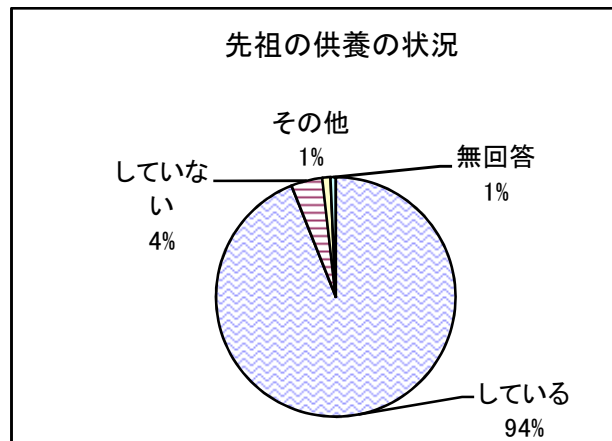
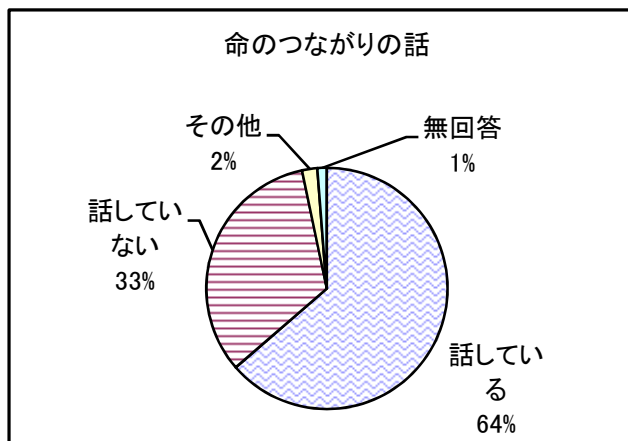


問6－(1)－①聞かれた経験があるときの返答内容



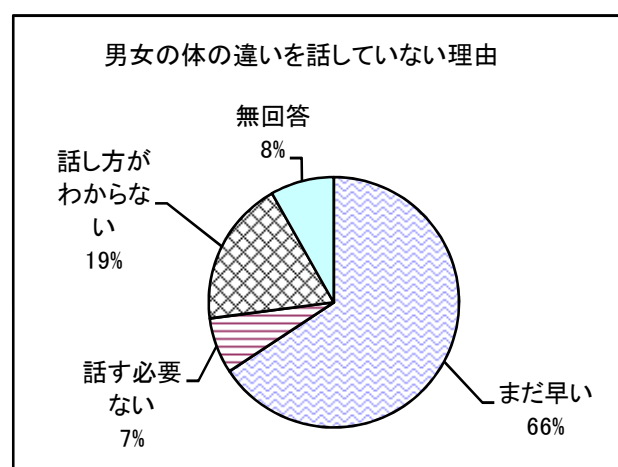
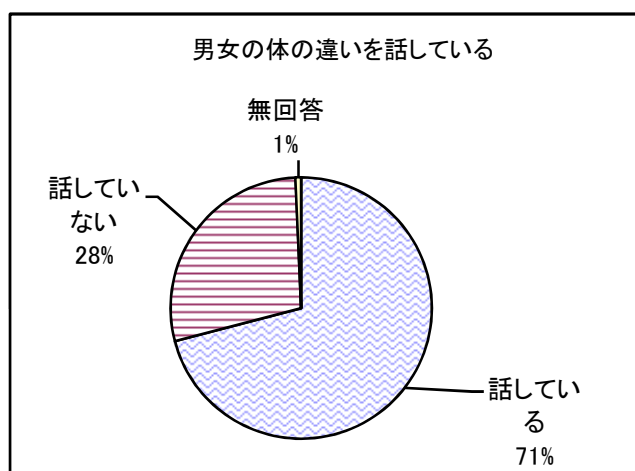
問6－(2)命のつながりの話

問6－(3)先祖の供養の状況



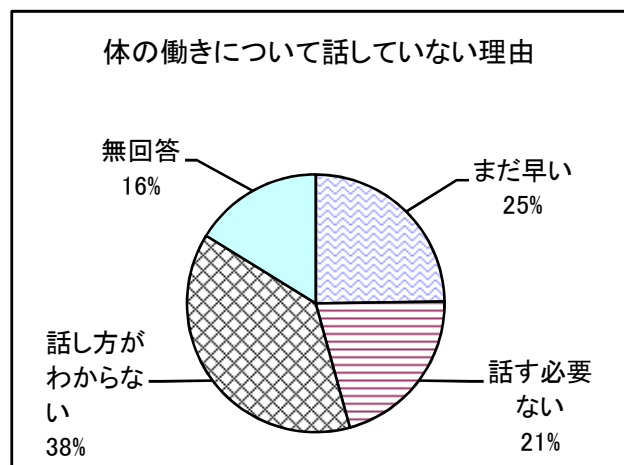
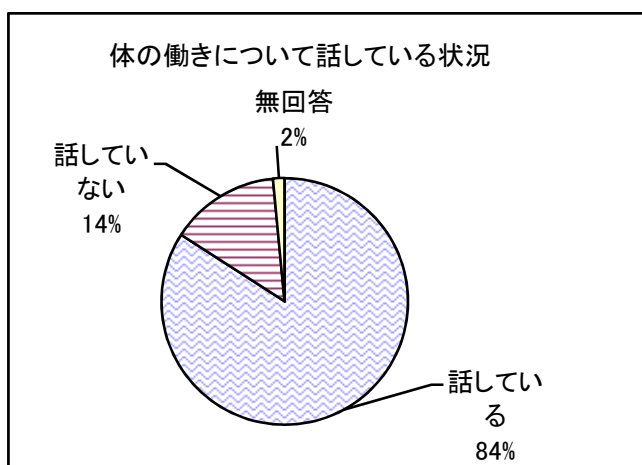
問7ー(1)男女の体の違いを話している

問7ー(1)ー②話していない理由



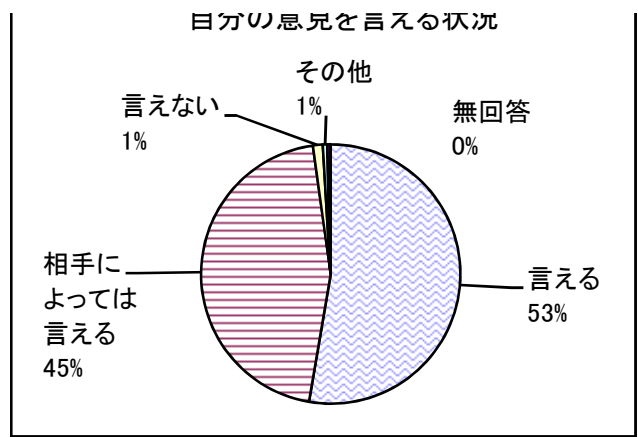
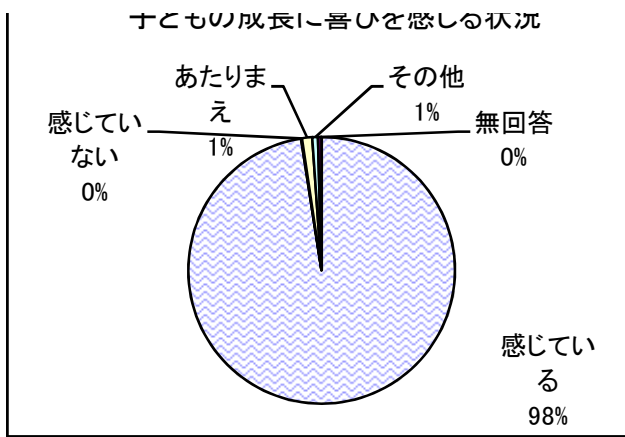
問7ー(2)体の働きについて話している

問7ー(2)ー②体の働きについて話していない理由



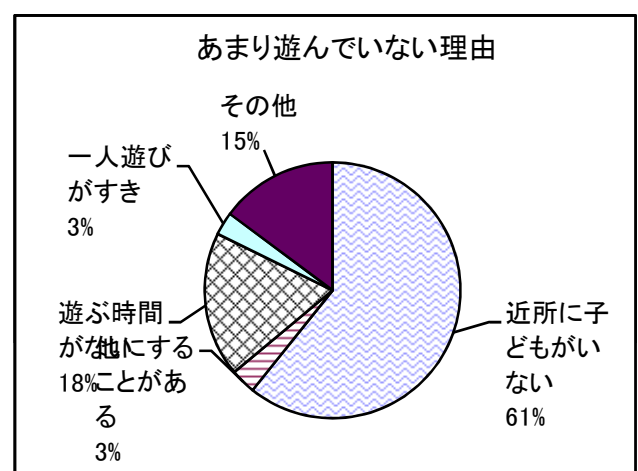
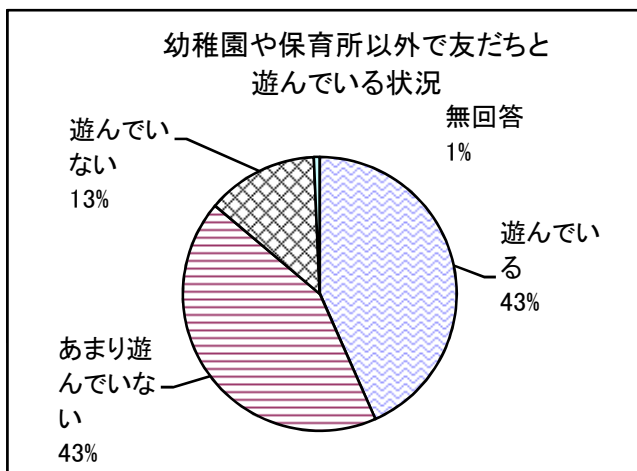
問7ー(3)子どもの成長に喜びを感じるか

問8ー(1)自分の意見をはっきり言える



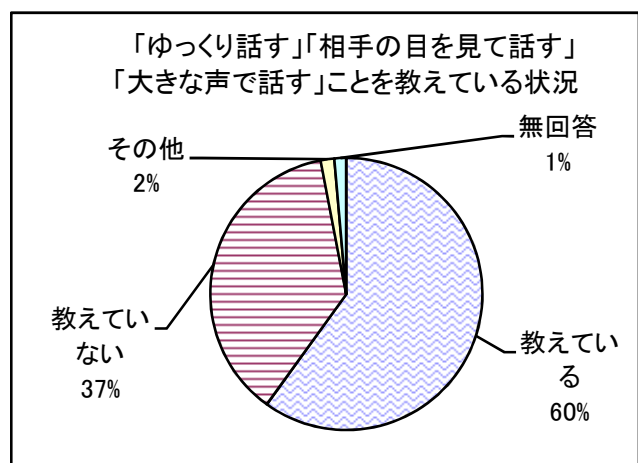
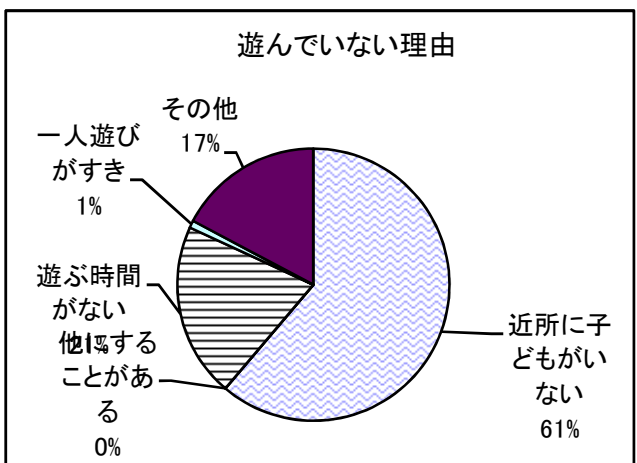
問8－(2) 幼稚園や保育所以外で友だちと遊んでいる状況

問8－(2)－②あまり遊んでいない理由



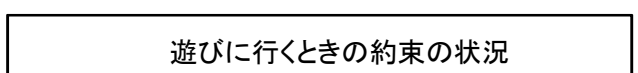
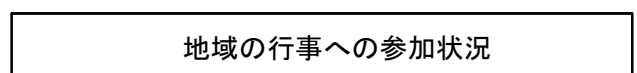
問8－(2)－③遊んでいない理由

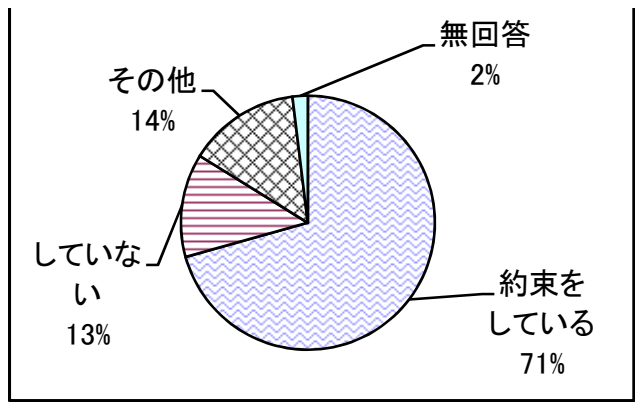
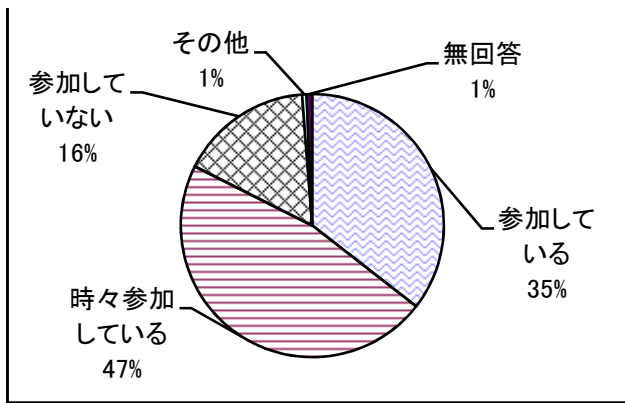
問8－(3)「ゆっくり話す」「相手の目を見て話す」「大きな声で話す」ことを教えている状況



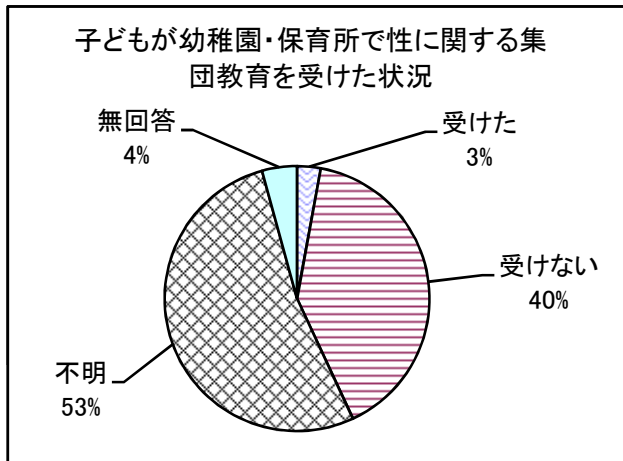
問8－(4) 地域の行事への参加状況

問8－(5) 遊びに行くときの約束の状況

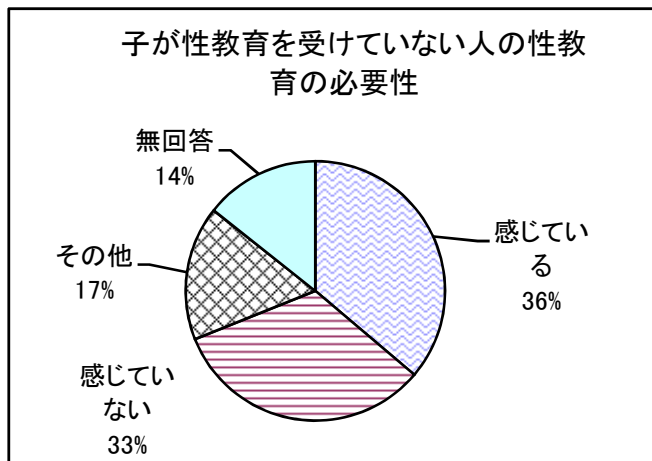




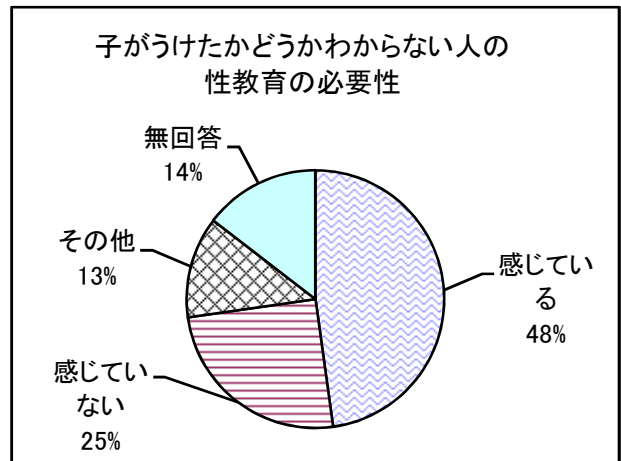
問9－(1)子どもが幼稚園・保育所で性に関する集団教育を受けた状況



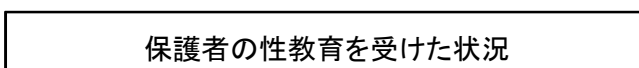
問9－(1)－②子が性教育を受けていない方の性教育の必要性



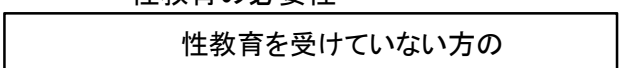
問9－(1)－③子がうけたかどうか分からない人の性教育の必要性

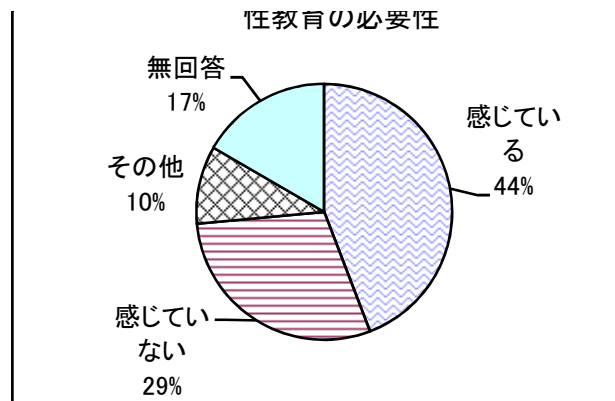
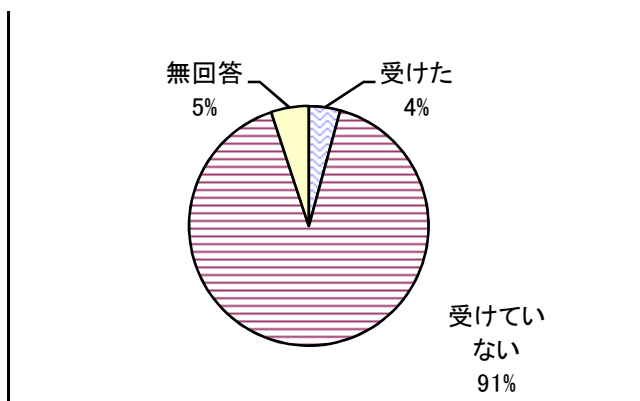


問9－(2)保護者の性教育を受けた状況

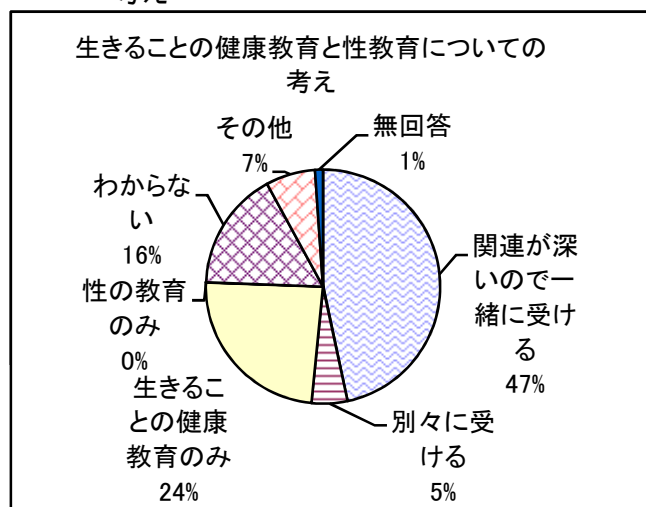


問9－(2)－2性教育を受けていない方の性教育の必要性

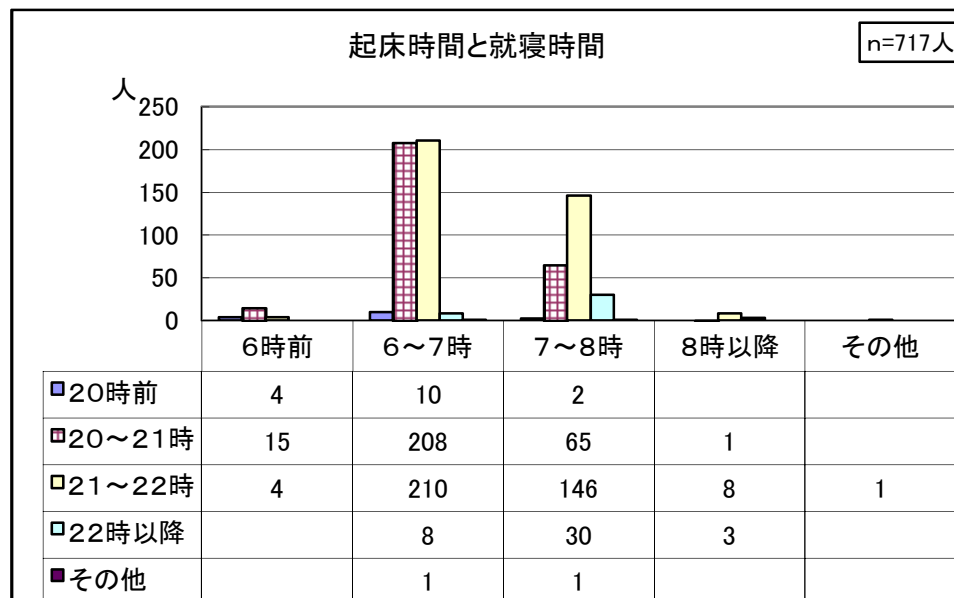




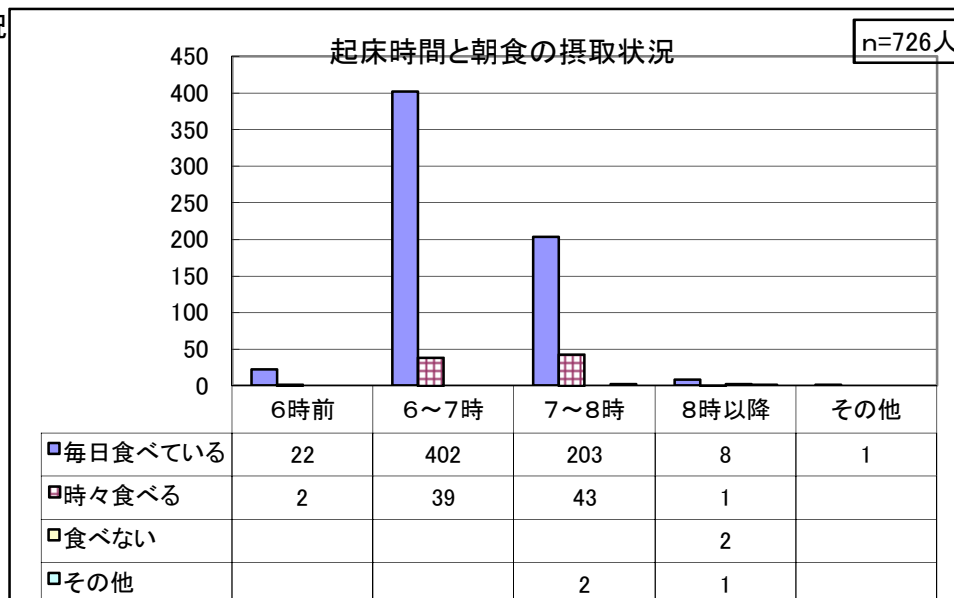
問9ー(3) 生きることの健康教育と性の教育についての考え



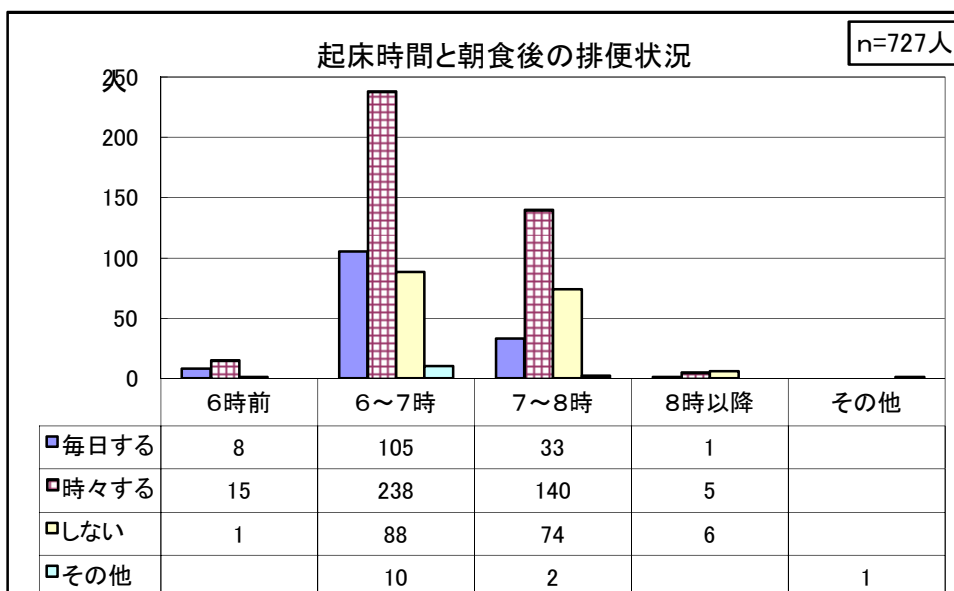
起床時間と就寝時間



起床時間と朝食の摂取状況

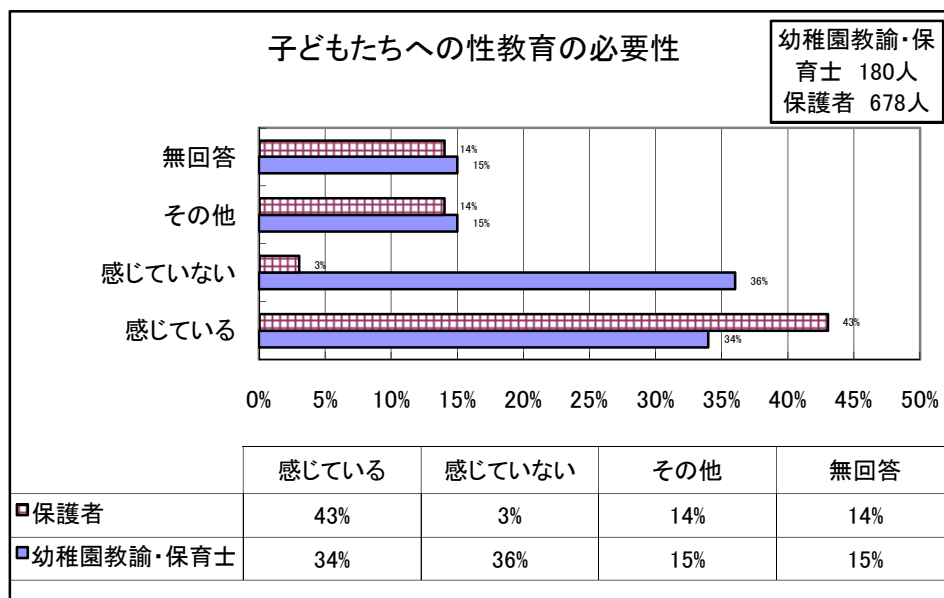


起床時間と朝食後の排便状況

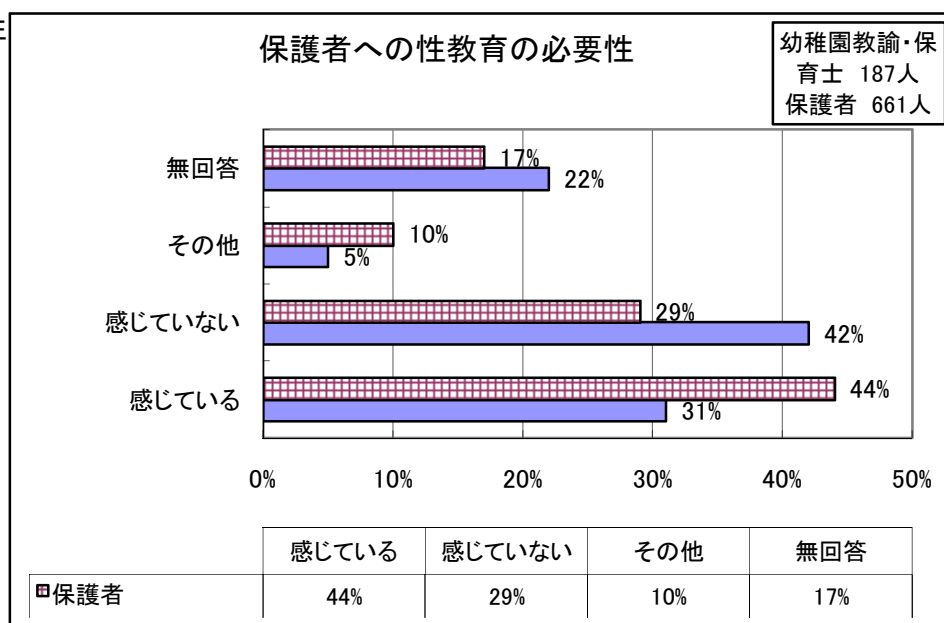


子どもたちへの性教育の必要性

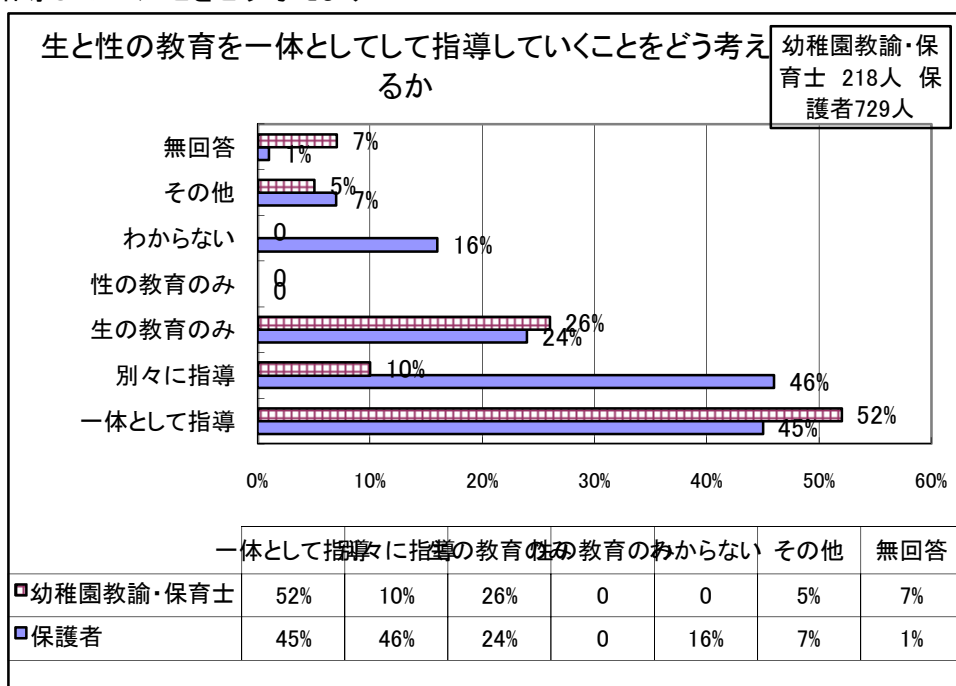
※保護者の合計は「子どもが性教育を受けていない」「子どもが性教育を受けたかわからない」と回答した者



保護者への性教育の必要性



生と性の教育を一体として指導していくことをどう考えますか



幼稚園教諭・保育士アンケート調査結果（その他の内容）

問3ー(6)

| 3基本的生活習慣 |
|--------------------------|
| (6)取組 |
| その他内容 |
| 家庭に行ってもらよう求めているのは難しい |
| 絵本や紙芝居などを利用して |
| 保育所便り、クラス便りで伝えている |
| 繰り返し基本的生活習慣を身に付くよう援助していく |
| 個別懇談会を行い話し合いを持つ |
| 両者が協力しあい指導にあたる |
| 指導した内容をおたよりなどにさりげなく組み入れる |
| 本人の意識付け |
| 集会で話して気づかせる |
| 遊びの中で自然に身につけられるように援助している |
| お互い刺激しながら身につけていく |

問3ー(7)

| 3基本的生活習慣 |
|---|
| (7)必要なもの |
| 基本的には家庭で身につけていくことが親の成長にもつながると思うが、実際、子どもにどう関わればよいのかわからない親が多いので保護者への指導とともに保育所でも関わりが必要である。 |

問4ー(4)

| 4子供・動植物への接し方 |
|--|
| (4)命の大切さ |
| その他内容 |
| 避難訓練や防災訓練、交通安全教室などの園での行事 |
| 友達との関わりの中で |
| 戸外遊びで動植物を見つけたとき |
| 誕生会の時 |
| 火災や災害時における訓練時 |
| 日常の保育の仲で機会があるたび |
| 宗教教育のなかで |
| 子どもが喧嘩をしたり怪我をしたとき等 |
| 事故や事件の話、ニュースを聞いたとき話題として取り上げる。危険な行為や怪我をしたとき |
| 危険から身を守る話をするとき |
| 虫等を捕まえても、また、草むらにもどすよう促している |
| 避難訓練、防犯訓練等 |
| 畑で食物を栽培するときなぜ水が必要か？ |
| ニュース等で話題になっていることを話す |
| けが、病気をしたとき |
| 日常の遊びの中で・・・けんか・思いやり、やさしさ |
| 事件・事故等の報道、連絡があったとき |
| 外遊びや散歩で |
| 毎月の誕生会の時 |
| 散歩時 |

問4―(5)

| 4子供・動植物への接し方 |
|--|
| (5)必要なもの |
| 子どもに関わる全ての人が協力して関わる |
| テレビ、ゲーム等で命を粗末にしたり、人の命を奪うような場面を子どもたちが目にしないように大人が配慮する必要がある |
| 愛されて育つこと |

問5―(3)

| 5命のつながり |
|--------------------------------|
| (3)命のつながり教育 |
| その他内容 |
| 兄弟の出産を通して |
| 友達との関わりの仲で |
| 集会で話しをする |
| 誕生児がいる日に人形など使ってお話している |
| 家族の大切さや、みんなに愛されて育ってきたことを知らせている |
| 生活の中でその都度取り入れている |
| 家の人に生まれたときのことを聞かせる |
| 小さい子(赤ちゃん)との関わりを持つとき |
| お誕生会 |
| 家族について話し合うとき |

問5―(4)

| 5命のつながり |
|-----------------------|
| (4)必要なこと |
| その他内容 |
| 関心を持ったときに正しく知らせてあげること |

問6―(4)

| 6体への興味 |
|--------------------------------------|
| (4)体の働き教育 |
| その他内容 |
| 絵本・紙芝居 |
| けがや病気になったとき |
| 体操をやっているとき、危険なことがないように注意するとき等 |
| 絵本や図鑑を見たり、集会で話をする。怪我をしたときや危険な行為をしたとき |
| 行事(運動会)の時、怪我をしたとき |
| 体のしくみや働きについての本などで |
| 全体でお話しする時間を使って |
| その都度、絵本等も含む |
| 全体の集会に話すことがある |
| 時々紙芝居などをおして気づかせている |
| 体調の変化があったときなど |
| 午睡前や紙芝居前など内容に関連して話す |
| 自己免疫力など病気(風邪をひいたとき)になったとき |
| 食育関連の絵本を通して |
| 保育の中での幼児の動きをとらえて伝えている。 |
| 園生活の中で、機会あるごとに伝えている |
| 内科健診、歯科健診の時、歯磨きをするとき |
| まだ教えられる年齢でないと |
| 体の動きの絵を描いたり、関節の動く人形を作ったりしている |
| 友達とトラブルになり叩いたり、噛んだりしたとき、身体の人説明をするとき |
| 幼児クラスは朝の話の中で、毎月の誕生会の際に |

問6―(5)

| |
|-----------------------------------|
| 6体への興味 |
| (5)必要なこと |
| その他内容 |
| 生活していく上でいろいろな場面で知ることができることであると思う。 |

問7―(3)

| |
|---|
| 7意思表示 |
| (3)表現 |
| その他内容 |
| 自分の思いを自分の言葉で話し伝えられるように、待ったり、導いたりして普段の生活の中で心がけている。 |
| 絵本をとおして知らせたり、その都度子どもの衝突時にクラス全体で話し合っている |
| 自信を持たせる |
| 生活発表を行い自分の思いや出来事を話す場を設ける |
| 相手の思いにも気づくように仲立ちしたり気持ちを言葉で伝えられるように関わりを持っている。 |
| 自分の思い(要求・拒否)をやりとりの仲で言えるように仲介してやる。また、相手の気持ちに気づけるように共感したり 言語化してやる |
| 保育者が先に話してしまうのではなく子どもからの言葉を待つ |
| 友達とのコミュニケーションの場を作る |
| 伝えようとしていることをじっくり聞いてあげ、言葉を補助してあげたり励ましたりする。ちゃんと伝えれたときなど誉め自信をつけさせる。 |
| リズム表現を通して思いを発散させることで、少しずつ思いを言えるようにしている。 |
| じっくりと聞いてあげている |
| 「かして」「まぜて」「ありがとう」など気持ちが伝えられるよう言葉かけしている。 |
| そのこの思いを引き出せるよう、一対一の会話に努める |
| 集会で皆の前で生活発表をしている |
| 具体的な話し方、表現の仕方を話す |
| 上手く言えない子には言葉を添えて相手に伝えられるよう援助している |
| 言葉を添えてあげる、代弁してあげる |
| 子どもの気持ちを聴いたり、さぐったりしながら、言葉を表せるよう伝え方を知らせている |
| 自信を持たせる機会を多く、信頼関係の中で気兼ねなく会話ができるようにする |
| 自分の思うことをはっきり伝えたり相手を思いやる気持ちを持てるようにしている |
| 喜怒哀楽くらいなら言葉で言えるように「嬉しいわ」「悲しいね」等と声かけして子どもからの言葉も引き出していく |
| 自分の思いが相手にうまく伝わらなかったときなどは、原因を考えさせるとともに、具体的にどう表現すればよかったのかなど教えるなど場面をとらえて気づかせている。 |
| 自分が嫌なことは、相手にもやってはいけない。お手づたい、お当番の仕事 |
| 他の子のまねをせず、発言する場を与える。 |
| 問題あった時にその都度どうしたらいいか教えたり考えさせている。 |
| 生活発表や個々の関わりの中で話すようにさせている |
| ①本人が困っているとき、なぜ困っているかなど聞き出しながら教えている |
| ②他の人に伝える機会を設けるなどしている。 |
| 子どもの話をよく聞く |
| 遊んでいる中でトラブルを子どもたちが自分たちで解決できるように見守り時には援助している |

問8ー(3)

| |
|---|
| 8遊び |
| (3)積極的に遊ぶ |
| その他内容 |
| 関われない子には、保育者も一緒に遊んで友達との関わりがもてるように見ていっています。 |
| 様々な行事を通して |
| 年齢によるが、まずは一人遊びが十分にできること。(友達と遊ぶにも難しいので)友達の思いを汲み入れていけるような関わりがまたは、環境が大事。 |
| 喧嘩をしても相手をゆるせたり、仲直りができる方法を実際に経験することがたいせつ。何事も取り除くことが大人のすべきことではない。 |
| 他クラスとの散歩 |
| 子ども同士の喧嘩の時は途中でできるだけ止めない |
| 異年齢の関わりを生活遊びに多く取り入れている |

問8ー(4)

| |
|-------------------------|
| 8遊び |
| (4)必要なこと |
| その他内容 |
| 経験させることが大切だと思う |
| 多人数での遊びを経験させる |
| 相手の気持ちを考える機会をたくさん経験すること |

問9ー(1)ー2)

| |
|--|
| 9性教育の取り組み |
| (1)子供に対する集団教育 |
| 実施していない |
| その他内容 |
| 大切なことであるが、どこまで深く入って良いのかと思う。 |
| 必要だとは思うが、学校へ行ってからでも良いと感じる部分もある。 |
| 個々によって。体に興味があり他児に嫌がることをしたときなどは、しっかり伝えていくべき。 |
| 年齢を踏まえある程度理解できる内容なら |
| どこまで伝えて良いか分からない |
| 3歳児は集団教育ではなく必要なのは個々では |
| 必要に応じて |
| 関心を持ったときに個人的に話したり接している。 |
| 年齢的に難しいため |
| 必要だとは思うが、今はまだ早いのかなと思うし、どういう風に教えたらよいのか正直分からない |
| 子どもたちの関心に応じて必要 |
| 地域的に |
| 検討中 |
| 小学校からでも良い |
| どの程度までの教育か？ |
| 地域的に現段階において必要性を感じていないため |
| よくわからない |
| 男女の体のつくりの違い、赤ちゃんが生まれる仕組み等の絵本を読み聞かせる程度。 |
| 気になる言動、行動があるようなときは個々に指導している。 |
| 聞かれているときに答えている |
| 年長児については感じている |
| 日々の活動の中に多少とも取り入れているので時間を要してする必要はない |
| 必要だと思われるときには行っている |
| 全体的子どもを一緒にしての教育は行っていない。クラスに任せている。 |

問9－(2)－2)

| 9性教育の取り組み |
|--|
| (2)保護者に対する集団教育 |
| 実施していない |
| 理由 |
| まずは子どもにと思う |
| 保護者が質問に困ったとき、一緒に考えてみては・・・個人で |
| 今まで考えたことがありません |
| 年長児になると女兒の体にも興味を持ってきているので親子で話をする機会、学習する機会があっても良いかと思いますが、性だけでなく一体として生きることへの話が聞けたらと思います。 |
| 必要性は感じないが性に興味を持つ子がいたら考えるべきだと思う。 |
| 時間がなかなかとれない |
| どういう風に実施したらよいか方法がわからない。 |
| 保育所としてではなく、保健事業として行っているから |
| 特別問題になるようなことは今のところないため |
| 全体をとおして行わなくてもその時々子どもたちの疑問等にこたえている。 |
| 特に求められていない |
| 改めて話す機会を設けないためだと思う |
| 早期教育ではないかと思います。絵本をとおして小学校からではどうでしょうか。まず、食育が第一だと感じます。落ち着きがない、切れやすい他、乳幼児期から必要です。 |
| 必要性を感じていないため |
| 必要に応じて個別に行っている |

問9－(3)

| 9性教育の取り組み |
|---|
| (3)生と性教育 |
| その他内容 |
| 分からないが両方必要だと思う |
| できれば一体の方が良いと思うが、年齢に応じて子どもが疑問に思ったときにその都度応えていければと思う。 |
| きちんと理解できる年齢であれば生と性の教育を一体とした方がよい。 また、メディアの情報(雑誌、TVなど)に興味を持ちやすいのでその部分から教えていくことも大切なのでは？ |
| 年齢にあった指導が必要である |
| 今のところ、よくわからない |
| 年齢的にどのくらい理解できるか③のみで良いように思われるが④については必要に応じ年齢にあったわかりやすい話であれば良いと思う |
| やるとすれば、保健師等をお願いしそちら(母子教室)分野で行って欲しい |
| 一体として指導しつつも、その他に別々に指導することも大切だと思う。その方がより伝わりやすいと思うから。 |

保護者調査結果:その他の内容

問4ー(4)

| (4) 排便 |
|-------------------|
| その他の内容 |
| 起きてすぐすることが多い |
| 保育園から帰ってきてからの方が多い |
| 決まっていない |
| 夜排便 |
| 長男は毎日、長女は時々 |
| ほとんどする |
| 休みの日はすることがある |
| 体の障害があるため二日に一度 |
| 夕食後が多いです |
| わからない |
| たまにしないときがある |
| 朝食後ではないが毎日する |
| 毎朝でなく日中にしたりします |

問4ー(5)

| (5) 片付け |
|--------------------------|
| その他の内容 |
| 着替えは自分でやるが片づけは時々しない時がある。 |
| 身支度は自分でするけど片づけがあまりできない |
| 身支度は毎日、片づけは時々 |
| 身支度は毎日する |
| 気分でないときがある |
| 自分のできる範囲で |
| できるものは自分でする |

問5ー(3)

| 子どもとのふれあい |
|---|
| その他の内容(時々) |
| 時々どう接していいかわからない時もある。 |
| 自分の余裕のあるときに、いつも生まれてくれてありがとう。おかげでママはいつも幸せと言っている。 |
| 歌を歌ったり、二人でお風呂に入りお話しする |
| 幼稚園でやってきたこと |
| 毎日一緒にお風呂に入る |
| 一緒に料理する |

問6ー(1)

| (1)生まれてきたときのこと |
|--------------------------------------|
| その他の内容 |
| お腹から出てくると思っているようで、それについてはまだ詳しく教えていない |
| わからないと言った |
| 生まれた場所だけ答えた |
| 弟の出産に立ち会った(自宅出産で) |
| 出産の話はします |
| ビデオを見せている |
| どのような子どもだったか答えた |
| 帝王切開で生まれたこと |
| 赤ちゃんだったときのこと |
| 子どもの頃のことを聞かれ答えた。親に怒られたことや何で遊んだか |
| 生まれてきてみんなで喜んだよと答えた。 |

問6ー(2)

| (2) 両親等命のつながり |
|---|
| その他の内容 |
| お母さんのお母さんはおばあちゃん、パパはおばあちゃんのお腹から生まれてきた・・・etc |
| 亡くなった私の祖父母の写真を見せる程度 |
| 聞かれてから答えようと思っています。 |
| おばあちゃんからお母さんは生まれた、等。 |
| 祖父の死の時、赤ちゃん誕生するにあたり・・・ |
| 祖父がとてもかわいがってくれていたことをよく話す |
| 「お母さんのお母さんはだれ？」とか位です |
| したようなしないような |
| 誰から誰が生まれたと話したことがある |
| 両親やいとこ程度 |
| したことはある |
| 少しではあるが話したことがあります。 |

問7ー(3)

| (3) 成長の喜び |
|--|
| その他の内容 |
| そのときによって変わる |
| 感じてはいるが反面、幼い、かわいらしい、今のままでいてくれたらいいな、などとバカなことを考えることがたびたびあります |
| 成長はうれしいがその反面不安(とまどい)もあります |
| 意見を言ってくれて成長を感じますが素直に喜べないときもあります。 |
| 時々感じる |

問8ー(1)

| (1) 意見を言える |
|-----------------|
| その他の内容 |
| まだ上手に言えない |
| 場合によって、その時の気分。 |
| 言葉がどもって時間がかかる |
| 言えるときと言えないときがある |

問8－(2)

| (2) 友達との遊び |
|--|
| その他の内容 |
| 習い事の後(毎日ではないですが)遊んでいます |
| 平日は幼稚園でお残りをしているし、土日などは家で出かけたりするため |
| 兄・妹と遊ぶため |
| 幼稚園で今のところ満足しているようでお昼寝してしまうから |
| たまに近所の同じ年の子と |
| 私が一緒にいられない為子どもだけで遊ばせるのが不安 |
| 休みは家族で出かけたり過すことが多い。平日は遅い迎えなので |
| 祖父母宅では時々近所の子と遊ぶ |
| 保育所なので幼稚園の子と会う時間がない |
| 会社にいるため |
| 兄弟で遊ぶことが多い。平日は夕方まで延長保育なので家に帰ってから遊ぶ時間はない |
| 最近では寒いので外に出ない。秋頃までは遊んでいたが、近所の友達が別の保育園に通っていたりすると夕方にならないと帰宅しないので時間は5時頃になっていた |
| 寝たきりのおばあちゃんがいて家には呼べないし、相手方に行くにも夕食時間が早いので、食事の支度をするために遊びに行くことはなかなかできない |
| 兄弟と遊ぶ事が多い |
| まだ小さいから。 |
| 家族で過す |
| 園の帰宅時間が違う |
| 昼寝の時間がある |
| 時間帯や近い年の子がいない |
| 同年代の子は近所にいないが年上の小学生とはたまに遊んでいる。 |
| 遊ぶ場所が近所がない |
| 風邪を引くと長引くので、体調の良いときのみ近所の子が遊びに来る |
| 引っ越しをしたばかり |
| 自分から行こうとしない |
| 近所と遊ぶまでの交流がない |
| 越してきてまだ地域になじんでいない |
| 会津に引っ越ししたばかりで幼稚園以外の友達がいとこの子しかいないため |
| 帰りが夕方遅かったり、出かけたりする。 |
| 夏場は日が長く帰ってきてから遊べるが、冬場は短く遊べない。 |
| 時々いとこや姉の友達とは遊びます |
| 近所に友達はいるが今は一緒に遊べる子供がいない |
| 帰宅時間が遅いので遊べない。また、同じ年の子がいない。 |
| 遊ぶ所がない |
| 幼稚園に通っていない。兄の友達とたまに遊ぶ |
| 祖父母と遊ぶのが好きだから |
| 家同士が都合が悪かったりする。 |
| たまにいとこ同士で遊ぶ |

問8－(3)

| (3) 話し方 |
|-----------------------------|
| その他の内容 |
| きちんとできているので何も言わない |
| 状況によって教える |
| 3つのうち1つか2つは可 |
| その場でできなかったことを教える |
| その時大事だと思った時教えている |
| 教えている物と教えていない物がある |
| 相手の目を見て話すことは伝えたことがある。 |
| 大きな声で話すは教えている |
| 時々 |
| ゆっくり話すことは伝えています |
| 普段の生活の中でのことで特に教えていなくてもできている |

問8－(4)

| (4) 地域行事参加 |
|---------------------|
| その他の内容 |
| 参加してはいないが見学したりしている |
| まだ参加するものがないです。時間がない |
| あまり参加できる行事がない |
| お祭りなどは行っている |
| 時間がないため、解らない |

問8－(5)

| (5) 遊びの約束 |
|---|
| その他の内容 |
| 1人で遊びには行かせない |
| 今のところ親同伴 |
| 遊びに行くことがないのでしていない |
| まだ3歳なので |
| 一緒に行く事が多い |
| 子どもだけで遊びに行かせないので約束はしない |
| 親が見ているところで遊んでいる |
| 必ず一緒に行動している |
| 時間は決めています、一人で外に出すことが無いため今は言っていない |
| 知らない人に行ってダメとは話している |
| まだ遊びに行けない |
| 子供だけで遊びに行くことがないので |
| 私は働いていていつも祖母がみている。約束はしていると思う。 |
| 一人ではどこにも行かない |
| まだ小さいのでいつも一緒 |
| まだ遊ぶとき親がついているので |
| 交通ルールを守る、飛び出さない。 |
| 親と離れて出かける事がない。 |
| まだ一人では遊びにいけないが教えている |
| 子どもだけで遊びに行かせていない。知らない人について行ってはいけないことは教えている。 |
| 一緒に行くのでその都度教えている |
| まだ子どもだけで遊びに行かせたことがない |
| 遊びに行くときは親と一緒に多いので。 |
| 51 |

| |
|--|
| 一緒に行くので特に約束はしない |
| まだ幼稚園児で一人でとか友達とかで遊びに行くこともないので今は約束はしていない。 |
| まだ遊びに行くことはない。 |
| 必ず両親と一緒に出かける。 |
| 時と場合による |
| 自宅の庭以外で遊ばない |

問9－(1)

| (1)子供の集団教育 |
|----------------------------------|
| 受けていない |
| その他の内容 |
| まだ早い。内容にもよる。 |
| 小学生になってからでもよいと思う |
| わからない |
| まだ幼稚園に行っていないが必要性は感じている |
| まだ早いと思う |
| 年代によって必要によっては大事だと思う |
| 小学生くらいでいいと思います。もしくは年中くらい |
| まだわからないと思う |
| 意味がわかる所までなら |
| 6才なのでまだいいかなと思ったりもするのですが・・・ |
| 保育所、幼稚園では理解が難しいと思う。 |
| 専門知識のある方にきちんと教えてもらいたい。 |
| 感じるが、まだ早い。 |
| 小学校からでも良いのでは。 |
| 親がきちんと勉強して子に伝えるべき |
| 年齢や個人によって差があると思う |
| まだ必要ない |
| 年齢による |
| 小学校に入ってから |
| 5才のため今は感じていない |
| 幼稚園で教えるものか(時期的に早いのでは)教え方にもよると思う。 |
| 地域性や年代による |
| 小学校で受ける |
| 小中学生になってからでよい。 |
| もう少し大きくなってから必要。 |
| 年齢に応じて |
| 3才なのでまだ理解できない |
| よくわからない |

問9(2)

| (2)保護者の集団教育 |
|-------------------------------------|
| 受けない |
| その他の内容 |
| まだ早い。内容にもよる。 |
| 必要だろうが小学生になってからでよいと思う |
| 特に考えたことはないが、幼稚園ではそれほど必要ないと思う |
| 幼稚園ではやっていましたが、そのとき子どもが水痘にかかり出席しなかった |
| 52 |

| |
|--|
| 幼稚園児には早すぎると思う。それより、犯罪者をもっと減らす事を考えるべきだと思う |
| 年齢による |
| この年齢ではまだ早い気がします |
| 小学校に入ってからでいいと思う |
| 記憶がない |
| 小学生からでもいいのではと思う |
| 保育所の年齢だとまだわからないと思う |
| まだ早いと思う。小学生になってからでよいと思う |
| 幼稚園、保育園児ではまだ早いと思う |
| まだ早い |
| いつ頃が適切かよくわからない |
| 学校でうければ良いと・・・ |
| 小学校中学年頃で良いと思う。 |
| 男女共同参画の事業で「女性のためのステップアップ講座」で、保健師さんから話を聞きました。親はきちんと勉強して子供を性犯罪から身を守る教育が必要かなと思いました。 |
| 必要に応じて |
| 年齢や個人によって差があると思う |
| まだ必要ない |
| 小学校に入ってからでも良いのでは。 |
| 地域性や年代による |
| 中学校で受けたことがある。子どもは小学校で受けるので必要とは思いますが今は早いと思う |
| 子どもにどうすれば上手に伝えることができるか説明の仕方、導入の仕方を教えて欲しい |
| まだ早いかも・・・ |
| 親に教われればいい |
| 必要だが保育園のうちはまだ理解できないと思う |
| 小学校に入ってからでよい |
| 性教育は大事だがまだ早すぎると思う |
| どちらとも言えない |
| まだ知らない |
| 小学校高学年頃から良いのでは？ |
| わからない。今となれば幼稚園では必要ではなかった。 |
| どちらとも言えない |
| まだ小さいのでそこまで考えていない |
| 性教育はまだ早い |
| 忘れた |
| 幼稚園では必要ない |
| 覚えてないけど小学校で受けました。 |

問9—(3)

| (3)健康・性教育 |
|---|
| その他の内容 |
| 関連はあるが、内容をわかりやすく、詳しくは小学生からでよいと思う |
| 性教育の必要性はすごく感じるが、幼稚園、保育所でとなるとちょっと考えてしまう |
| 生教育を通してより理解を深めてから性教育へ移行しても良いのではと思います。 |
| 生、性教育は確かな知識は必要だと思うが、過剰な知識はいらないと思うのでやってはいけないことを教えてくれるのが良い |
| 両方共に大切であるが子供の成長や時期がそれぞれあると思う。健康教育を受け、その後に成長に合わせた性教育をしていけば良いと思う。 |
| 集団教育も大切だと思うが、まず、家族で教えてあげたいと感じます。集団で性の教育を受けてきた後も、家庭で又話し合ったりするのも大切だと思います。 |
| 53 |

| |
|---|
| 関連性は深いとは思いますが3歳の子供に理解と納得ができるかが？です |
| 健康教育はよいと思うが、性教育はまだ早いと思います。 |
| 保護者は受けておいた方がよいと思うが、子供に関しては性の教育(内容にもよる)は小学校に入ってからで良いと思う まだ必要ない |
| 小学校に入ってからで良いと思います。 |
| やるならば子供(3才～6才児)にもわかるようにわかりやすく話してほしい。親を対象に実施してほしい。家ではどんなことを話 したらいいのかわからない。 |
| 6才時に適したものであればひやっしてほしいし、どういう内容のものかも知りたい気持ちはあります。 |
| 幼稚園、保育所での性教育はどのような内容、レベルで教えるかによる。健康教育はもちろん受けた方がよい。 |
| 健康教育も性教育も幼児期から学ぶべき問題であるが、日常における人との関わりや動植物の飼育などを通して自然に学べ ばよいと思う。幼稚園や保育所より家庭における役割が大きい時期だと考えている |
| まだ早いので今は受けなくてもよい。 |
| 必要性のある時期、年齢があると思うのでひとことでは言えない。 |
| 「生きることの健康教育」がどのような内容なのか具体的にわからないので答えられない。アンケートの内容から想像する内 容については必要だと思う。会津地方の10代の中絶が多い事を知らない保護者も多いと思うので保護者に対する啓発も必要 ではないかと思っています。私は中絶の多さは知っていました。しかし、性教育を段階を踏んで受けて育っていない私達は、子 供にどういう時期にどんな内容で伝えるのかも・・・息子だったりするとおさらです。 |
| 性の教育は幼稚園ではやってほしくありません。まず、生きる喜び、集団生活の楽しさ、健康教育をしっかりやってからしない では中絶率は減りません。命は大切だということを知って欲しい。 |
| 関連性はあると思うが一緒にうけてそれぞれ同じように理解できるかちょっと疑問がある(子どもに関して) |
| 男女の体の違いなどはしっかり伝えてあげた方がよいと思うが、それよりも、相手を思いやる気持ちを育てることの方が大切だ と思う。 |
| 生きること→生命の大切さ→性へとつながっていると思う。幼児期は生命の不思議や大切さを実感していければ良いと思う。 親や祖父母が折に触れて話してあげるだけでよいのでは？集団で教育する物ではないように思う。地球上のすべての生物、 生きている物全てを感じて暮らしていける大事な子ども時代になんだけ気づき触れて感じるができるかを大人たちが手助 けしてあげたいです。生命の大切さを知っていれば性を軽んじることはなくなると思う。今は幼い子どもたちが年齢に応じて人 間の体の仕組みや働き、性についても家族で話しあっていきたい。そのためには今から質問されたことはわかりやすい言葉で 話している。女性の生理と生命の誕生と発達に |
| 年齢がまだ小さいのでそのときの状況でよい |
| まだ早いのではと思う。しかし命の大切さを学ぶことは必要だと思う |
| 教育を受けるのは必須だと思うが、幼稚園児にはまだ話しても理解できないと思う。 |
| 性の教育は小学校からでもよいのではないかな。 |
| 自然でいい。 |
| 性の教育は安易にではなく、時期をみて必要であれば慎重に教えてほしい。 |
| 周りや大人たちが見守ってあげ子どもが感心を示したら個々に指導してあげられたら良いと思います。逆に興味をそぐのでは ないかも感じます。 |
| 幼児期において大切な項目の一つと考えていますが、それよりもまず親、大人への教育が先と考えています。 |
| 保育所ではまだ早いと思います。 |
| 健康教育について具体的説明が不足しているため回答できない。 |
| 性と命と生は区別できないくらい関連性が深いですが、保育園にそこまで「教育」を求めている。親が生活の中で自然に伝えてい くことだと思う。 |
| 性の教育については発達段階に応じて進めていければよいと思う。 |
| 同時でも良いが、6:4の割合で位で良い |
| 特別に時間を設けなくとも日々接する中で少しずつ教えていけば良いと思う。一緒に教えることもあるだろうし、別にはなすこと もあると思う |
| 健康と性の関連性はもちろん深いと感じていますが、どちらも幼児に理解させるにはじつくりと時間をかけ別々に指導し、最終 的に「生きること」に続く。それが普通ではないでしょうか。青年ならともかく、幼児に双方の教育と一緒に受けさせても理解は 難しいと思います |
| 生きることといいますが、子供が考える前に親が考えるべきだと思います。物のありふれた社会だからこそ物を大切にすること と、それを言葉でなく体で教えるべきだと思います。物、自然に存在する動植物全てかけがえのないものであることを教えてこ そ、命も人も大切に、そして自分を大切にできるのだと思います。感謝の心だと思います。 |
| 「生きる」事は幼稚園でも必要だと性については内容がわからないので答えられませんが、もっと大きくなってからでも良いかと 思います |
| 性については興味があれば良いがなければ必要ないと思う。 |
| 性教育は小学校中学年くらいにならないと理解できないのではないかと思います。理解できる年頃になったら家庭でもしっかり 教えなければと思っています。 |
| 正しい知識は子どもに伝えていきたいと思う。親も真剣に向き合って教えるべき時の好機がいつが良いか子どもを見守りなが ら教えるチャンスを得たいと思う。 |

| |
|---|
| 性教育はあまり必要とは思っていません。学校の保健体育等で男と女の違い等がわかっただと充分だと思う。自然と生活していく中でいろんなことに興味を持ちわかっていくと思うので。心配な面もありますが。 |
| 理解できないので小学校くらいでよいのではない |
| まだ早いような気がします。 |
| 関連性がない別にそれぞれ大切なことなので年齢、時期を考慮し教えた方が良いと思う。 |

(幼稚園教諭様・保育士様用アンケート調査票)

皆様が担任されているお子さんを対象に下記の質問事項の該当する項目を○で囲む、または()内に必要事項をご記入ください。

- 1 このアンケートにお答えいただく貴方は何歳児を担当していますか。
①3歳児 ②4歳児 ③5歳児 ④担任なし
- 2 このアンケートにお答えいただく貴方の年代は？
①20代 ②30代 ③40代 ④50代 ⑤60代以上
- 3 子どもたちの基本的生活習慣についてうかがいます。
 - (1) 朝のあいさつはどうですか。
①よくできる。
②まあまあできる。
③あまりできない。
④できない。
 - (2) 食前、排便後の手洗いはどうですか。
①よくできる。
②まあまあできる。
③あまりできない。
④できない。
 - (3) 友だちと一緒に食べることで苦手なものでも食べようとしますか。
①よく食べようとする。
②まあまあ食べようとする。
③あまり食べようとしない。
④食べない。
 - (4) 朝の様子はどうですか。
①元気である。
②まあまあ元気である。
③あまり元気でない。
④元気でない。
 - (5) 年令にふさわしい片づけ・身支度はできますか。
①よくできる。
②まあまあできる。
③あまりできない。
④できない。
 - (6) 幼稚園・保育所で、基本的な生活に必要な習慣を身につけさせるための取り組みはどのようなことをしていますか。(複数回答可)
①保護者への協力要請。
②幼稚園・保育所での日常生活のなかで、幼児を指導。
③その他 ()
 - (7) 基本的な生活に必要な習慣を子どもが身につけるために、一番必要なものはどれだと思いますか。
①家庭で、子どもの成長にあわせた関わりが必要である。
②幼稚園・保育所で、子ども及び保護者への指導が必要である。
③家庭と幼稚園・保育所ともに協力して子どもに関わるのが必要である。
④その他 ()

6 子どもたちの体への興味についてうかがいます。

(1) 子どもたちは、自分の体に関心があるようですか。

- ①かなり関心がある。
②まあまあ関心がある。
③あまり関心がない。
④関心がない。

(2) 子どもたちは男の子と女の子の体の違いに関心があるようですか。

- ①かなり関心がある。
②まあまあ関心がある。
③あまり関心がない。
④関心がない。

(3) 子どもたちは、自分の体の状態（眠い、のどが渴いた、かゆい、痛いなど）について言えますか。

- ①うまく言える。
②まあまあ言える。
③あまり言えない。
④言えない。

(4) 子どもに、体の働きやすばらしさをどんな時に教えていますか。(複数回答可)

- ①食事の時。
②排尿や排便の時。
③遊んでいるとき。
④その他（ ）

(5) 子どもが、体の働きやすばらしさを知るために、一番必要なことはどれだと思いますか。

- ①家庭での、子どもの発達に応じた関わりが必要である。
- ②幼稚園・保育所で、幼児及び保護者への指導が必要である。
- ③家庭と幼稚園・保育所ともに協力して子どもに関わるのが必要である。
- ④その他（ ）

7 子どもたちの、意思表示についてうかがいます。

(1) 友だちの話をよく聞くことができますか。

- ①よくできる。
②まあまあできる。
③あまりできない。
④できない。

(2) 自分の思っていることを家族以外の人にも伝えることができますか。

- ①よくできる。
②まあまあできる。
③あまりできない。
④できない。

(3) 子どもが、自分の意思を言葉や態度で表現できるように、どんなことをしていますか。
(複数回答可)

- ①イヤなことは、イヤと言えるように教えている。
②自分のことばで、はっきり話すことができたり、態度で表現できる防犯訓練などをして
いる。
③その他（ ）

(4) 子どもが、自分の意思を言葉や態度で表現ができるようにするために、一番必要なことはどれだと思いますか。

- ①家庭での関わりが必要である。
- ②幼稚園・保育所で幼児及び保護者の指導が必要である。
- ③家庭と幼稚園・保育所ともに協力して子どもに関わるのが必要である。
- ④その他（ ）

8 子どもたち同士の遊びについてお伺いします。

(1) 年令の異なる子ども同士仲良く遊ぶことができますか。

- ①よくできる。
- ②まあまあできる。
- ③あまりできない。
- ④できない。

(2) 遊びのルールを守ってお友だちと遊ぶことができますか。

- ①よくできる。
- ②まあまあできる。
- ③あまりできない。
- ④できない。

(3) 友だちと積極的に遊べるようになるためにどんなことをしていますか。(複数回答可)

- ①他の子とコミュニケーションが図れる遊びを工夫している。
- ②子どもどうしの喧嘩の時、双方の話しをよく聞いている。
- ③危険回避は最小限にし、子どもどうしの遊びを自由にしている。
- ④子どものアイディア、工夫により遊びを作り出すようにしている。
- ⑤その他 ()

(4) 子どもどうし積極的に遊べるようにするために、一番必要なことはどれだと思いますか。

- ①家庭での関わりが必要である。
- ②幼稚園・保育所で幼児及び保護者の指導が必要である。
- ③家庭と幼稚園・保育所ともに協力して子どもに関わるのが必要である。
- ④その他 ()

9 幼稚園・保育所での性教育の取り組みについてうかがいます。

(1) 子供たちに、性に関する集団教育をしていますか。

1) 実施している。

・ どのような内容ですか。

- ①体の名称・はたらき
- ②男女の体の違い、役割
- ③その他 ()

・ 主な担当者は誰ですか。

- ①担任
- ②施設長
- ③外部に依頼 ()

2) 実施していない。

・ その必要性は

- ①感じている。
- ②感じていない。
- ③その他 ()

(2) 保護者に対して、性に関する集団教育を実施していますか。

1) 実施している。

・ どのような内容ですか。

- ①子どもへの性教育について
- ②その他 ()

・ どのような時に

- ①保育参観の時に
- ②保護者会の集まりの時に
- ③その他 ()

・ 主な担当者は誰ですか。

- ①担任
- ②施設長
- ③外部に依頼
- ④その他 ()

・ 年間の回数は

- ①1回
- ②2回
- ③3回以上

2) 実施していない。(理由は :)

└──────────

・必要性は

①感じている。

②感じていない。

③その他 ()

(3) 生と性の教育を一体として指導していくことをどう考えますか。

①一体として指導した方が良い。

②別々に指導した方が良い。

③生の教育のみ指導で良い。(生きることの健康教育)

④性の教育のみ指導でよい。

⑤その他 ()

ご協力ありがとうございました。

(保護者様用アンケート調査票)

下記の質問事項の該当する項目を○で囲む、または()内に必要事項をご記入ください。

(※3歳以上のお子様が2人以上いらっしゃる場合は、もっとも年齢の低いお子様を対象にご記入ください。)

- 1 お子さんは何歳ですか () 歳) 性別は (① 女 ・ ② 男)
- 2 このアンケートをご記入の方はどなたですか
① 父 ② 母 ③ 祖父母 ④ その他 ()
- 3 家族構成についてうかがいます。お子さんから見た続柄で該当するも方全てに○をつけてください。
① 父 ② 母 ③ 兄弟姉妹 (人) ④ 祖父 ⑤ 祖母
⑥ 曾祖父 ⑦ 曾祖母 ⑧ その他 ()
- 4 基本的生活習慣についてうかがいます。
 - (1) お子さんは、朝何時頃起きますか?
① 6時前 ② 6～7時 ③ 7～8時 ④ 8時以降 ⑤ その他 (時)
 - (2) お子さんは、朝起きたとき、家族に「おはよう」のあいさつをしますか?
① 毎日する ② ときどきする ③ しない ④ その他 ()
 - (3) お子さんは、朝ご飯を食べていますか?
① 毎日食べている ② 食べたり食べなかったりする ③ 食べない
④ その他 ()
 - (4) お子さんは、朝食後、排便をしますか?
① 毎日する ② ときどきする ③ しない ④ その他 ()
 - (5) お子さんは、片付けや身支度など、自分のことは自分でしていますか?
① 毎日する ② ときどきする ③ しない ④ その他 ()
 - (6) お子さんは、手洗い・はみがきなど自分でしていますか?
① 毎日する ② ときどきする ③ しない ④ その他 ()
 - (7) お子さんに、体の洗い方や排便後のおしりの拭き方(男の子は特にペニスの洗い

方、女の子は特に排泄後、前から後ろに拭くなど）を教えてくださいか？

- ① 教えている ② 教えていない ③ その他（ ）

(8) お子さんは、夜何時頃寝ますか？

- ① 20時前 ② 20～21時 ③ 21～22時
④ 22時以降 ⑤ その他（ ）

5 ご家族や動植物などの関わりについてうかがいます。

(1) お子さんと一緒に、動植物に触れる機会がありますか？

- ① 植物を育てている ② 動物を飼っている ③ 触れる機会がない
④ その他（ ）

(2) お子さんが、お年寄りと触れ合う機会がありますか？

- ① 同居している ② 実家の祖父母と時々会う
③ 近所のお年寄りと触れ会っている ④ 触れ合う機会がない
⑤ その他（ ）

(3) お子さんとお話したり触れ合う時間をとっていますか？

- ① 毎日とっている どのようなことですか？（複数回答可）
(a) 子供の話をじっくり聴く
(b) 絵本を読んであげる
(c) ゆっくり抱いたり、一緒に遊ぶ
(d) 一緒に出かける
(e) 出来たことをほめる
(f) その他（ ）

② 時々ある

- どのようなことですか？（複数回答可）
(a) 子供の話をじっくり聴く
(b) 絵本を読んであげる
(c) ゆっくり抱いたり、一緒に遊ぶ
(d) 一緒に出かける
(e) 出来たことをほめる
(f) その他（ ）

- ③ 忙しくて時間がとれない ④ どう接して良いかわからない
⑤ その他（ ）

6 家族や先祖との命のつながりに対するかかわりについてうかがいます。

- (1) お子さんに、「自分が生まれてきた時のこと」を聞かれたことがありますか？

- (2) お子さんに、あなたの両親や先祖との命のつながりについて話をしますか？

- (3) お子さんと一緒に、墓参りなど先祖の供養をしたりしますか？

- (1) あなたはお子さんに、男女の違いや特徴について話すことはありますか？

- (2) あなたはお子さんに、体の働き（手、足、口、目、耳など）について話すことはありますか？

- (3) お子さんの成長に喜びを感じていますか？

- (1) 家族や友達に自分の意見をはっきりと言えますか？

- 理由は何ですか？
- (a) 近所に子供がいない
 - (b) 他にすることがあるから（習い事など）
 - (c) 遊ぶ時間がないから
 - (d) 一人遊びが好きだから
 - (e) その他（ ）

- ③ 遊んでいない
- 理由は何ですか？
- (a) 近所に子供がいない
- (b) 他にすることがあるから (習い事など)
- (c) 遊ぶ時間がないから
- (d) 一人遊びが好きだから
- (e) その他 ()

① 教えている ② 特に教えていない ③ その他()

① 参加している ② 時々参加している ③ 参加していない
④ その他（ ）

① 約束をしている ② していない ③ その他 ()

①うけた。

- ・どのような内容でしたか。
 - (a) 体の名称・はたらき
 - (b) 男女の体の違い、役割
 - (c) その他 ()

- ・ どなたに教えてもらいましたか。
 - (a) 担任
 - (b) 施設長
 - (c) 外部講師（ ）

64

(a) 感じている。

(b) 感じていない。

(c) その他 ()

③わからない。

・ 性教育の必要性を感じていますか。

(a) 感じている。

(b) 感じていない。

(c) その他 ()

(2) 保護者の方は、性に関する集団教育を幼稚園・保育所でうけられましたか。

①うけた。

・ どのような内容ですか。

(a) 子どもへの性教育について

(b) その他 ()

・ どのような時にうけられましたか。

(a) 保育参観の時に

(b) 保護者会の集まりの時に

(c) その他 ()

・ どなたに教えてもらいましたか。

(a) 担任

(b) 施設長

(c) 外部講師

(d) その他 ()

・ 年間の回数は

(a) 1 回

(b) 2 回

(c) 3 回以上

②うけていない。

・ 性教育の必要性を感じていますか。

(a) 感じている。

(b) 感じていない。

(c) その他 ()

(3) 幼稚園や保育所での生きることの健康教育と性の教育についてどう考えますか。

①生きることの健康教育と性の教育は関連性が深いので一緒にうけた方が良い。

②あまり関連性がないので別々にうけた方が良い。

③生きることの健康教育のみうけるだけで良い。

④性の教育のみうけるだけで良い。

⑤よくわからない。

⑥その他 ()

ご協力ありがとうございました。

会津保健福祉事務所及び管内市町村母子担当課

| | 市町村名 | 市町村担当課 | 住所 | 電話番号等 |
|----|-----------|--------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 1 | 会津若松市 | 健康福祉部 健康増進課 保健指導グループ | 〒965-8601 会津若松市東栄町3番46号 | 電話(0242)39-1245 FAX(0242)39-1410 |
| 2 | 喜多方市 | 市民部保健課 喜多方市保健センター (健康係) | 〒966-8601 喜多方市字御清水東7244-2 | 電話(0241)24-5223 FAX(0241)25-7073 |
| 3 | 北塩原村 | 住民ふれあい課 | 〒966-0485 耶麻郡北塩原村大字北山字姥ヶ作3151 | 電話(0241)23-3113 FAX(0241)25-7358 |
| 4 | 西会津町 | 健康福祉課 西会津町保健センター | 〒969-4512 耶麻郡西会津町上野尻字西林崎3136-5 | 電話(0241)47-2306 FAX(0241)47-2380 |
| 5 | 磐梯町 | 町民課 保健福祉センター | 〒969-3301 耶麻郡磐梯町大字磐梯字漆方1049-2 | 電話(0242)73-3101 FAX(0242)74-1377 |
| 6 | 猪苗代町 | 保健福祉課 | 〒969-3192 耶麻郡猪苗代町字城南100 | 電話(0242)62-2115 FAX(0242)62-2123 |
| 7 | 会津坂下町 | 生活部 会津坂下町健康管理センター | 〒969-6545 河沼郡会津坂下町字五反田1295-1 | 電話(0242)83-1000 FAX(0242)83-1757 |
| 8 | 湯川村 | 住民税務課 湯川村保健センター | 〒969-3593 河沼郡湯川村大字清水田字川入9 | 電話(0241)27-8800 FAX(0241)27-3760 |
| 9 | 柳津町 | 町民課 | 〒969-7201 河沼郡柳津町大字柳津字下平乙234 | 電話(0241)42-2118 FAX(0241)42-3419 |
| 10 | 三島町 | 町民課 | 〒969-7511 大沼郡三島町大字宮下字宮下350 | 電話(0241)48-5511 FAX(0241)48-5544 |
| 11 | 金山町 | 住民課 | 〒968-0011 大沼郡金山町大字川口字谷地393 | 電話(0241)54-5130 FAX(0241)54-2118 |
| 12 | 昭和村 | 保健福祉課 昭和村保健・医療・福祉総合センター 「すみれ荘」 | 〒968-0104 大沼郡昭和村大字小中津川字石仏1836 | 電話(0241)57-2645 FAX(0241)57-2649 |
| 13 | 会津美里町 | 健康福祉課 | 〒969-6495 大沼郡会津美里町鶴野辺字広町740 | 電話(0242)78-2112 FAX(0242)78-3045 |
| 14 | 会津保健福祉事務所 | 保健福祉課 児童家庭支援チーム | 〒965-0873 会津若松市追手町7番40号 | 電話(0242)29-5278 FAX(0242)29-5289 |

会津地域子どもたちの生と性のち生きいき推進会議開催の経過(平成18年度～20年度)

| 年度 | | 年月日 | 会議名 | 内容 |
|--------|----|-------------|----------------|--|
| 平成18年度 | 1 | 平成18年10月10日 | 第1回推進会議 | ・幼児期の「生」と「性」の教育に取り組むことについて |
| | 2 | 平成18年12月20日 | 第1回ワーキンググループ会議 | ・ワーキンググループの進め方について ・保育現場における取り組みの現状と課題について ・生(生きること)の健康教育プログラム作成について |
| | 3 | 平成19年2月7日 | 第2回ワーキンググループ会議 | ・生(生きること)の健康教育プログラム作成について ・実態調査の取り組みについて |
| | 4 | 平成19年3月13日 | 第2回推進会議 | ・ワーキンググループの今後の活動内容と計画について |
| 平成19年度 | 5 | 平成19年7月24日 | 第1回ワーキンググループ会議 | ・ワーキンググループメンバー間の生(生きること)の健康教育プログラムのイメージの統一化 ・実態調査の実施案について |
| | 6 | 平成19年8月21日 | 第2回ワーキンググループ会議 | ・実態調査の対象や内容について |
| | 7 | 平成19年10月15日 | 第1回推進会議 | ・実態調査内容及び調査方法について |
| | 8 | 平成20年2月27日 | 第3回ワーキンググループ会議 | ・実態調査結果の分析 ・幼児期の生(生きること)の健康教育プログラムの方向性について |
| | 9 | 平成20年3月10日 | 第2回推進会議 | ・実態調査の結果について ・幼児期の生(生きること)の健康教育プログラムの方向性について |
| 平成20年度 | 10 | 平成20年5月14日 | 第1回ワーキンググループ会議 | ・幼児期の生(生きること)の健康教育プログラム(案)の作成 |
| | 11 | 平成20年6月20日 | 第2回ワーキンググループ会議 | ・幼児期の生(生きること)の健康教育プログラム(案)の作成 |
| | 12 | 平成20年10月9日 | 第1回推進会議 | ・幼児期の生(生きること)の健康教育プログラム(案)について |
| | 13 | 平成20年11月5日 | 第3回ワーキンググループ会議 | ・幼児期の生(生きること)の健康教育プログラムについて |
| | 14 | 平成21年2月2日 | 第2回推進会議 | ・幼児期の生(生きること)の健康教育プログラム(案)について ・事業の評価及び課題について ・今後の方向性について |

会津地域子どもたちの生と性のいのち生きいき推進会議構成員

| 構 成 員 | 地 区 等 | 所 属 ・ 団 体 名 (氏 名) | 備 考 |
|--------------------|-----------|----------------------------------|-----|
| 保育所及び幼稚園代表 | | | |
| 認 可 | 耶 麻 地 区 | 喜多方市第一保育所(第二・四兼務) (所長)間壁 正 | |
| 公 立 | 両 沼 地 区 | 会津美里町立本郷幼稚園・保育所 (園長)鶴賀イチ | |
| 私 立 | 北 会 津 地 区 | 会津若葉幼稚園 (園長)中澤 剛 | |
| 養護教諭代表 | | | |
| 小 学 校 | 北 会 津 地 区 | (猪苗代町立翁島小学校)齋藤聡美 | |
| 小 学 校 | 両 沼 地 区 | (会津坂下町立広瀬小学校)齋藤裕子 | |
| 小 学 校 | 耶 麻 地 区 | (喜多方市立入田付小学校)渡部芳子 | |
| 保護者代表 | | | |
| 幼稚園保護者会 | 北 会 津 地 区 | 会津若松市幼稚園保護者協議会 (副会長)興石久実華 | |
| 幼稚園・保育所 保 護 者 会 | 両 沼 地 区 | 会津美里町立本郷幼稚園・保育所保護者会 (前会長)星 昭喜 | |
| 小 学 校 P T A | 北 会 津 地 区 | 会津若松市父母と教師の会連合会 (小学校部前会長)齋藤 勇 | |
| 医師会代表 | | | |
| 医 師 会 | 会津若松医師会 | (おのぎレディースクリニック)小野木哲 | |
| 学 校 医 会 | | (あらい内科循環器科クリニック)荒井一貴 | |
| 助産師会代表 | | | |
| | 北 会 津 地 区 | 竹田綜合病院(看護部長)龍川初江 | |
| 市町村長代表 | | | |
| 1 3 市 町 村 | 母 子 担 当 者 | | |
| 教育事務所代表 | | | |
| 会津教育事務所 | | (指導主事)町田壽章 (社会教育主事)長沼敬貴 | |
| 有識者 | | | |
| 教育関係有識者 | | 長谷川昭江 | |
| 児童相談所 | | | |
| 会津児童相談所 | | (次長)大宮廣幸 | |
| 会津保健福祉事務所 | | | |

会津地域子どもたちの生と性のいのち生きいき推進会議ワーキンググループ構成員

| 所属及び団体名 | 職名等 | 氏 名 | 備 考 |
|---------------------|---------|-----------|-----|
| 保育所及び幼稚園関係 | | | |
| 会津若葉幼稚園 | 園 長 | 中 澤 剛 | |
| 会津美里町立本郷幼稚園・保育所 | 保 育 士 | 江 川 あ け み | |
| 小学校関係 | | | |
| 猪苗代町立翁島小学校 | 養 護 教 諭 | 齋 藤 聡 美 | |
| 保護者関係 | | | |
| 会津若松市幼稚園保護者協議会 | 副 会 長 | 興 石 久 実 華 | |
| 会津美里町立本郷幼稚園・保育所保護者会 | | 石 川 良 男 | |
| 助産師関係 | | | |
| (財) 竹田総合病院 | 看 護 部 長 | 龍 川 初 江 | |
| 市町村関係 | | | |
| 喜多方市 | 主任保健師 | 小 林 嘉 代 子 | |
| 教育関係有識者 | | | |
| | | 長 谷 川 昭 江 | |
| 教育事務所 | | | |
| 福島県会津教育事務所 | 指 導 主 事 | 町 田 壽 章 | |
| 事務局 | | | |
| 会津保健福祉事務所 | 専門保健技師 | 外 島 裕 美 子 | |
| | 主任保健技師 | 本 間 愛 子 | |

